

第4期

# 石狩市農業振興計画

いしかり農業未来づくりプラン

(平成29年度~平成33年度)

「みんなで作ろう石狩ブランド!! 地域参加型農業」

平成29年4月

石 狩 市

# 目次

I. 第4期石狩市農業振興計画の策定について	1
1 策定の趣旨	
2 計画の性格	
3 計画期間	
4 策定の体制	
5 計画の進行管理	
II. 石狩市農業の特徴	4
III. 施策の展開	8
IV. 基本事業	11
《基本方向1 多様な担い手の育成と経営の効率化》	11
1 担い手・農業後継者の育成支援	
2 新規就農者・新規参入者の受入環境の整備	
3 女性の経営参画の推進	
4 雇用労働力の確保・強化	
5 農作業効率化の促進	
6 効率的な土地利用の推進	
《基本方向2 環境と調和する農業と超省力化を可能とする新たな展開》	16
1 クリーン農業の推進	
2 地域バイオマス資源の利活用の推進	
3 スマート農業の推進	
4 有害鳥獣などによる農業被害防止対策	
《基本方向3 石狩ブランドの確立と消費者との協働による地産地消の推進》	20
1 振興作物の開発	
2 販路拡大に向けた取り組みの推進	
3 地産地消の推進・市民との交流	
4 農商工連携の推進	
《基本方向4 魅力ある農村づくりと都市住民と交流》	24
1 グリーンツーリズムの推進	
2 都市住民との交流	
3 道の駅などを起点とした農業振興	
4 快適で豊かな農村づくり	

V. 地域別戦略	28
1 北生振・美登位地区	28
2 高岡地区	29
3 生振地区	30
4 厚田区	31
5 浜益区	32
VI. 参考資料	33
1 計画策定の体制と経過	33
2 農業経営に関する意向調査（集計結果）	36
3 用語解説	72

# I. 第4期石狩市農業振興計画の策定について

## 1. 策定の趣旨

本市はこれまで、平成24年4月に策定した「第3期石狩市農業振興計画」（石狩農業成長プラン）に基づき、石狩市の特性を活かせる農業の確立をめざし施策に取り組んできました。

この間、農業経営を取り巻く環境は、経済のグローバル化や農産物貿易の自由化の進展などにより、安価な輸入農産物や農産加工品の流入による農産物価格の低迷、米消費の減少、少子高齢化による国内需給の縮小が見られる中で、肥料・飼料などの生産資材価格が高止まりで推移するなど厳しい環境におかれており、さらに、農業者の高齢化や農家戸数の減少に加え、消費者や事業者のニーズは多様化・高度化し、農業・農村に対する期待は変わらず大きなものとなっています。

第3期石狩市農業振興計画の取り組みでは、市民の農業・加工体験の参加者数や地産地消の認証店数、地物市場「とれのさと」の来場者数、販売額がいずれも増加するなど一定の評価を得ることができました。

第4期石狩市農業振興計画は、前計画の内容と成果を踏まえ、農業を取りまく環境の変化や課題を的確に捉え、市民が豊かな食生活を送れるよう地域特性を活かした、さらなる農業発展と地域活性化をめざし策定したものです。

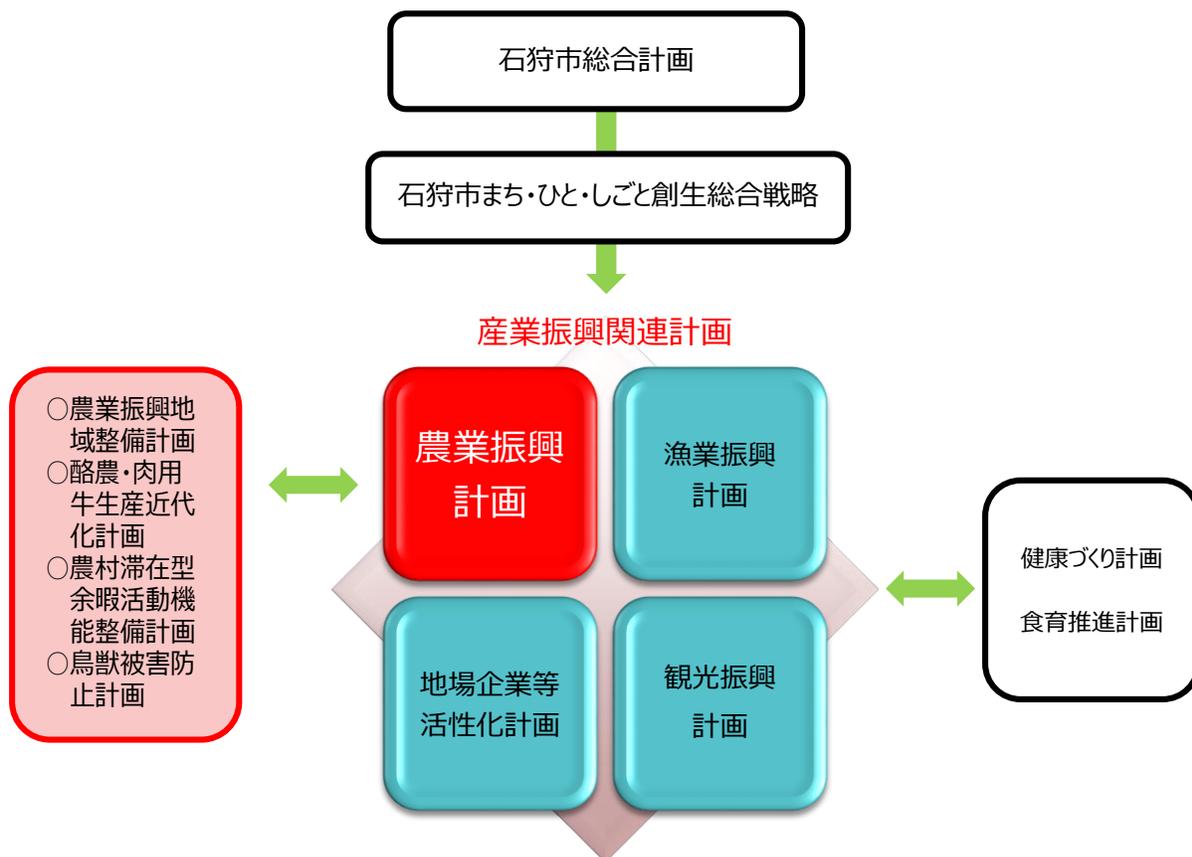
## 2. 計画の性格

この計画は、市の最上位計画である平成27年策定「第5期石狩市総合計画」の農業部門である「農業振興」や平成16年策定（H26変更）の「合併まちづくりプラン」などを基に、本市の農業施策を推進するための基本計画として位置付けています。したがって、事業の実施、予算の執行などは本計画に基づき、総合的、計画的に進めます。

また、この計画は、農業者や農業関係機関のみならず、消費者や経済関係者との連携を図るうえでの共通の指針として、めざす方向を具体的に示したものです。

さらに、農業の視点だけではなく、関連する各種計画（本計画を除く産業振興関連計画・健康づくり計画・食育推進計画など）との連携、整合性を図りながら相互の成長を促すことを目的としたものです。

【市総合計画と産業振興関連計画・その他関連計画との相関関係】

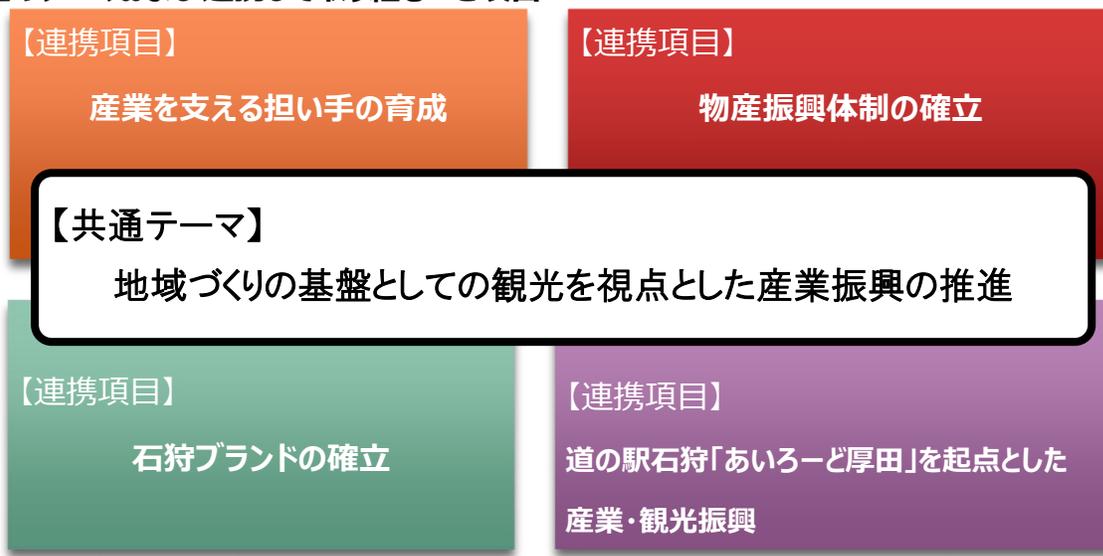


●産業振興関連計画共通テーマおよび連携して取り組むべき項目の設定

上記の産業振興関連計画については、それぞれが有する目的や性格等はしっかりと位置づけながら、共通するテーマ（課題・方向性）の設定や横の連携、さらには、道の駅石狩「あいろーど厚田」の活用や市民の健康推進、ふるさと納税などの他分野における市の喫緊のテーマと産業振興施策との結びつけなどを意識した内容としました。

産業振興関連計画の連携にあたっては、次に示す共通のテーマと連携して取り組むべき項目を設定するとともに、策定の過程において、各計画の検討組織からの代表者で組織する連絡調整会議を開催し、相互の連携や整合性を図りながら作業を進めました。

## ●共通のテーマおよび連携して取り組むべき項目



### 3. 計画期間

計画期間は、平成 29 年度から平成 33 年度（2017 年度から 2021 年度）までの 5 年間としますが、国際環境の変化を含め、農業を取り巻く環境の変化に的確に対応する必要があるため、社会経済情勢により計画に大きな影響が予想される場合は、計画の見直しなど必要な措置を講じることとします。

### 4. 策定の体制

第 4 期石狩市農業振興計画の策定にあたっては、農業経営に関する意向調査（以下、「意向調査」）を実施するとともに、農業者や有識者、関係団体、公募による市民で構成する「第 4 期石狩市農業振興計画策定委員会」からの提言や、パブリックコメントを経て策定しました。

### 5. 計画の進行管理

この計画に基づき実施する施策については、産業振興関連計画（4 計画）の策定関係者などで構成する組織などにより、毎年度、進捗状況の把握と必要な検討調整を図りながら、次年度以降より効果的・効率的なものにしていくこととします。

## Ⅱ. 石狩市農業の特徴

---

### 1. 石狩市農業について

石狩地区は、大都市に隣接する優位性を活かした都市近郊型農業の推進を図っており、水稻、小麦、馬鈴薯、人参などの土地利用型作物と、さやえんどう、ミニトマト、ブロッコリーなど労働力集約型作物が生産されています。特にさやえんどうは全道一の作付面積となっているほか、施設園芸の普及拡大とともに生産振興を図ったミニトマトは、「いしかり DE CHU！」のブランド名で出荷され高い評価を受けています。また地物市場「とれのさと」における販売も年々拡大しています。

厚田地区は、道内有数の食味を誇る水稻のほか、てん菜、南瓜、馬鈴薯など土地利用型農業が中心ですが、メロン、アスパラガスなども生産されています。

浜益地区においては、水稻が主体となっていますが、黒毛和牛との複合経営のほか、さくらんぼ、りんごなど果樹栽培も盛んで特徴的な経営が展開されています。

農業従事者数は 829 人※（P5 図 1）、農家戸数総数 435 戸※（P5 図 2）、経営耕作面積 4,022 ヘクタール※（P6 図 4）（H27 農林業センサス）となっており、いずれも減少傾向が続いています。

農作物取扱額は 2,936 百万円（H27 J A 取扱高）で、うち水稻が約 40%を占めています。

## 2. 石狩市農業の概況（農林業センサス）

### （1）農業従事者数

本市の農業従事者数は、平成 27 年の農林業センサスで 829 人となっており、5 年前に比べて 179 人減と依然として減少傾向が続いています。



図1 石狩市人口と農業従事者数（単位：人） 資料 農林業センサス

### （2）農家戸数

農家戸数は、平成 27 年の農林業センサスで 435 戸となっており、5 年前に比べて 93 戸の減少で、専業、第一種、第二種、自給的農家すべてにおいて減少となっています。

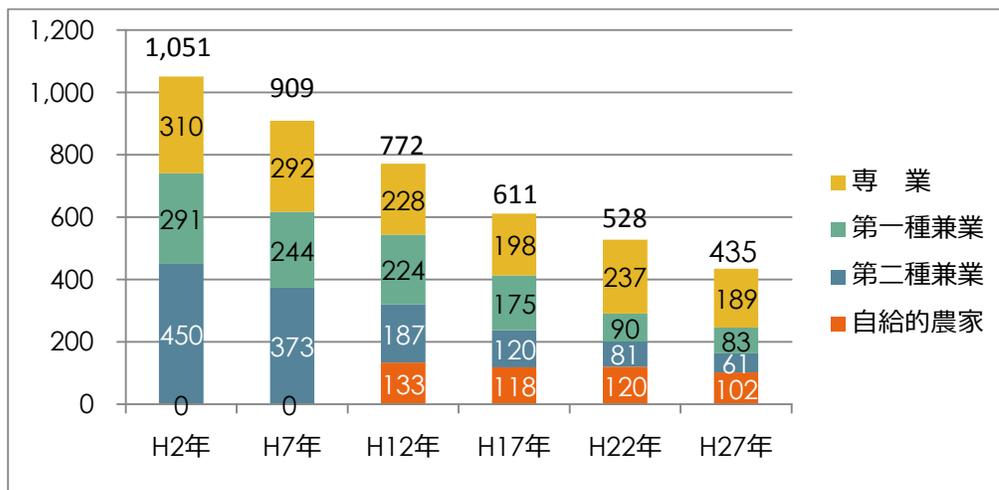


図2 農家戸数の推移（単位：戸） 資料 農林業センサス

### (3) 年齢別農業就業人口

農業就業人口は、平成 27 年の農林業センサスでは 711 人と 5 年前と比べ 151 人減少しています。一方、60 歳以上の割合が約 64%と約 5 ポイント増えており、高齢化が進んでいることが分ります。

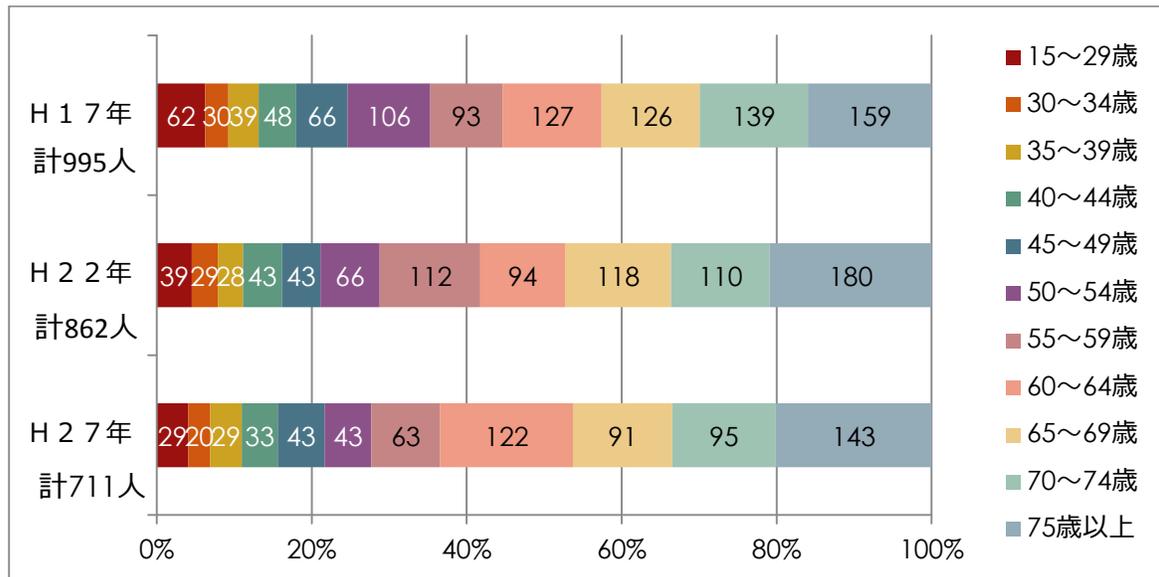


図3 年齢別農業就業人口 (単位：人) 資料 農林業センサス

### (4) 経営耕地面積

経営耕地面積は、平成 27 年の農林業センサスで 4,022 ヘクタールであり、前回から若干の減少傾向にあります。

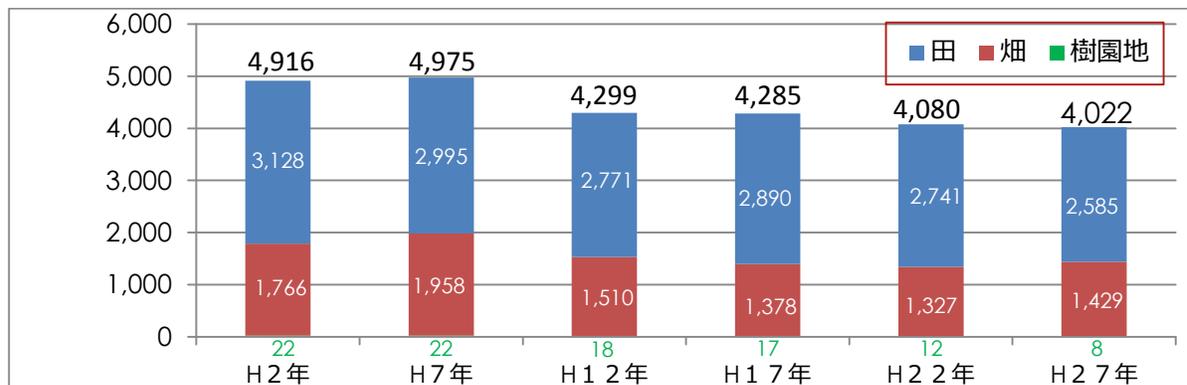


図4 経営耕地面積 (単位：ha) 資料 農林業センサス

### (5) 経営耕地面積規模別農家数（販売農家）

経営耕地面積規模別農家数は、20ヘクタール未満の農家戸数は減少している一方、20ヘクタール以上は増加しています。

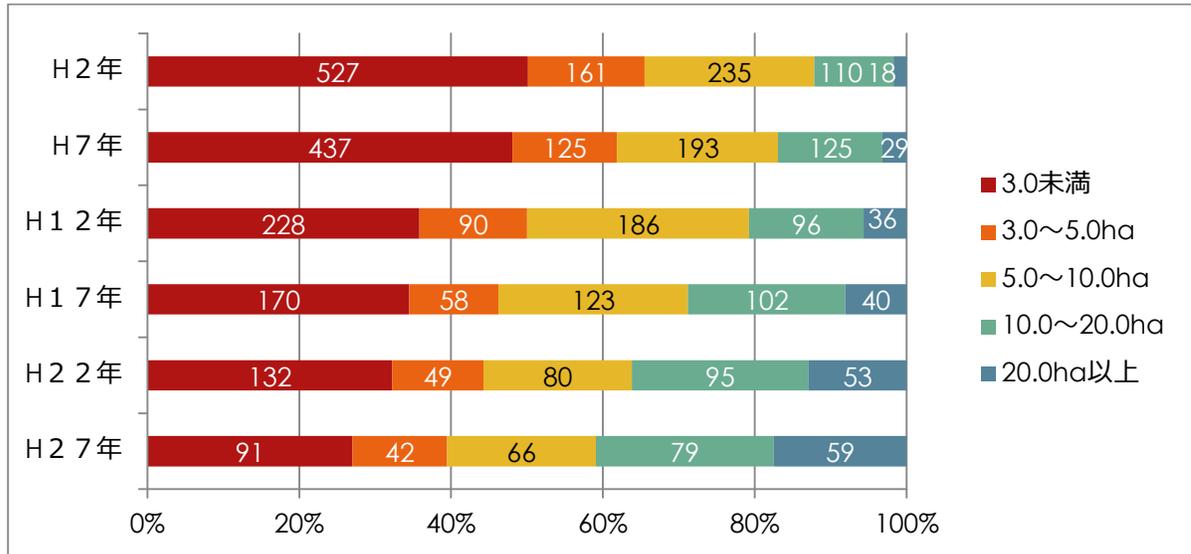


図5 経営耕地面積規模農家数（単位：経営体） 資料 農林業センサス

### (6) 農産物販売金額規模別経営体数

農産物販売金額規模別経営体数は、農産物価格の低迷や経営体の減少などにより全体で減少しています。

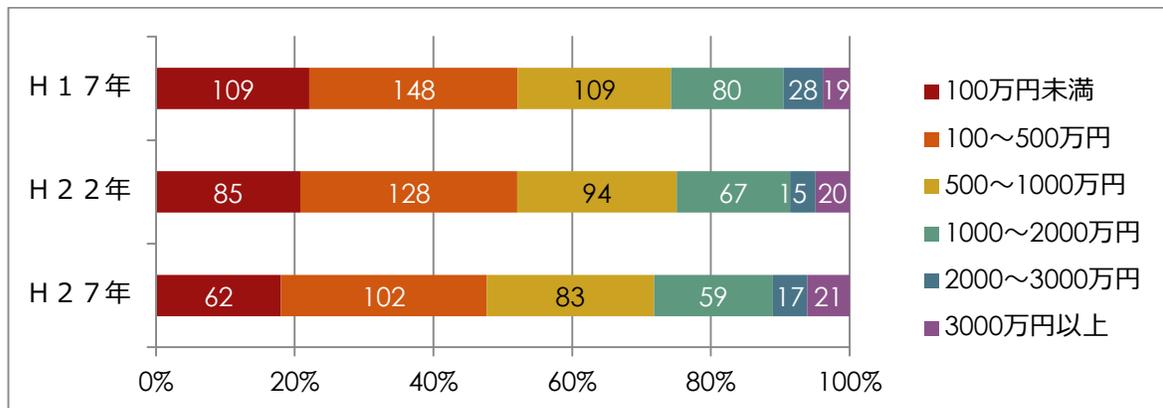


図6 農産物販売金額規模別経営体数（単位：経営体） 資料 農林業センサス

### Ⅲ. 施策の展開

前章で示した特徴を活かしながら農業振興を進めるにあたり、本計画では、次のとおり、めざす将来像を定め、その実現のための4つの「基本方向」を設定しています。

また、将来像と基本方向を具現化するために定めた施策を「基本事業」、さらに、各地域における特性や課題を踏まえ、対策の方向性と取り組みを「地域別戦略」として、施策を展開することとしています。

#### ■ 石狩市農業のめざす将来像

**「みんなでつくろう石狩ブランド!! 地域参加型農業」**

#### ■ 基本方向

##### 基本方向1 多様な担い手の育成と経営の効率化

農業後継者や女性農業者など、これからの農業を担う人材を育成支援するとともに、雇用労働力の確保、農業法人などの育成や農地利用の集積など、経営の効率化や生産性の向上を図る取り組みにより持続可能な農業をめざします。

##### 基本方向2 環境と調和する農業と超省力化を可能とする新たな展開

消費者の食に対する安全・安心を求める声や環境意識の高まりに対応し、減農薬・減化学肥料農業を推進するほか、稲わら、もみ殻など地域のバイオマス資源を活用した土づくりを推進します。

また、近年国内で取り組みが増えているスマート農業の生産現場への導入や支援の検討を進めます。

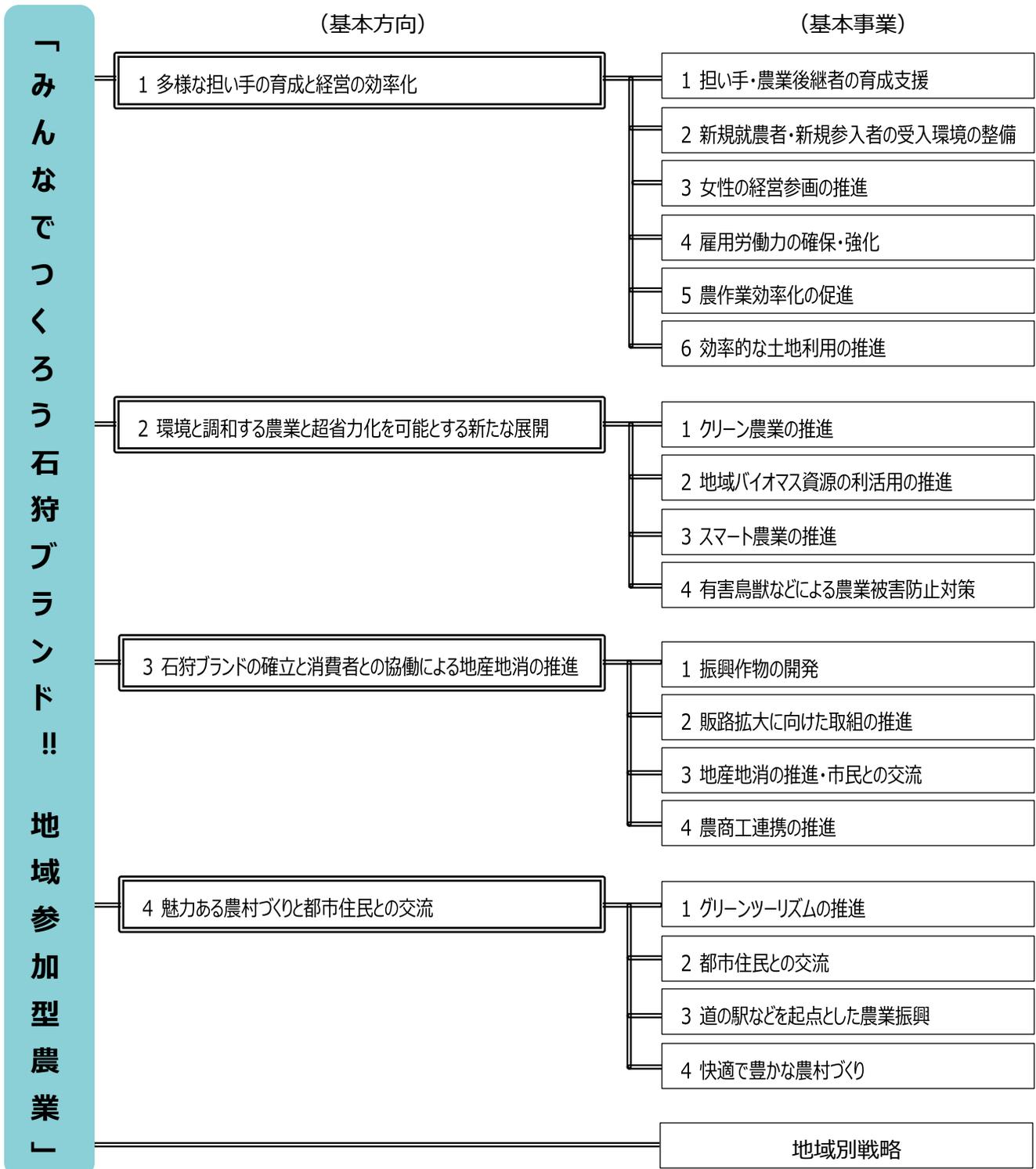
### **基本方向3 石狩ブランドの確立と消費者との協働による地産地消の推進**

振興作物の開発や商工業との連携による高付加価値な加工品の開発により、販路の拡大や地域農業の活性化を図ります。同時に、地産地消を活性化することにより、市民と生産者が一体となった農業振興を図ります。

### **基本方向4 魅力ある農村づくりと都市住民との交流**

農村の景観や農産物の魅力を活かした都市住民との交流を促進することにより、農業・農村に対する理解を深めてもらうとともに、地域農業の活性化を図ります。

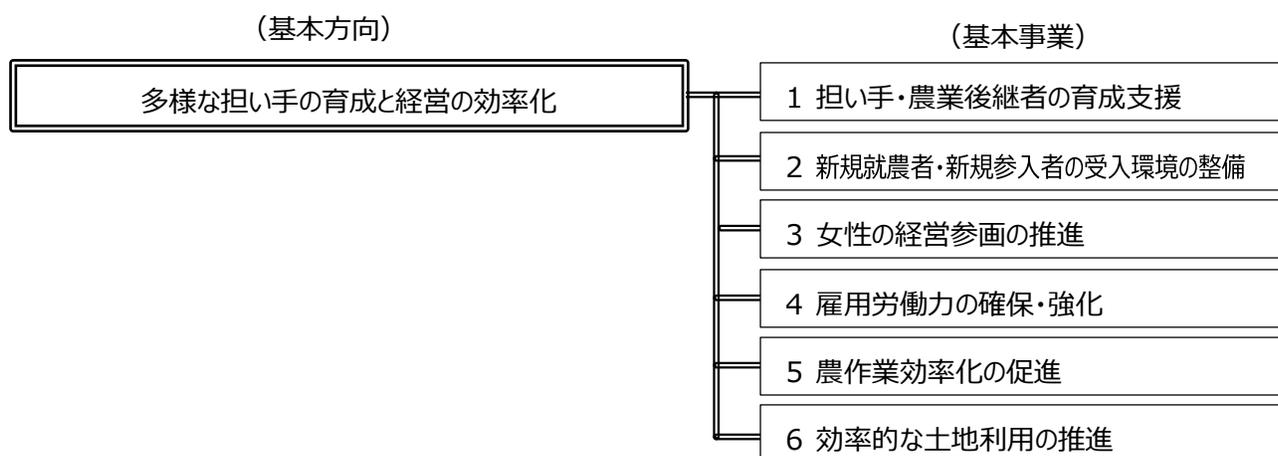
■ 施策の体系



## IV. 基本事業

### 基本方向 1 多様な担い手の育成と経営の効率化

#### ■ 施策の体系



#### ■ 現状と課題

##### ○ 農業従事者の減少

農林業センサスでは、農業従事者数は平成 22 年から平成 27 年にかけて 1,008 人から 829 人へと 179 人（17.8%）減少し、販売農家戸数も 408 戸から 333 戸（18.3%）に減少しました。高齢化が進み農業者数のさらなる減少が見込まれる中、担い手の確保対策が急務となっています。

##### ○ 新規就農・新規参入の状況

平成 24 年度から 28 年度の 5 年間で、Uターンや新卒による新規就農者は 9 人、他業種等からの新規参入者については 7 人となっています。

##### ○ 雇用労働力の状況

意向調査では、「作業従事者の雇用が不足している」との回答が全体の約 26%※（P42 表 16）となっており、繁忙期の農作業や耕作面積の拡大、高収益作物を導入する際にも人手不足が隘路となるなど、労働力確保の対策が急務となります。

## ■めざす方向

意向調査では、「農業振興を図るには何を重視すべきと考えるか？」で、担い手育成対策が上位で回答されており※（P65表61）、今後、新規就農者や後継者に対し、技術的・経済的支援を行うことを通じて、担い手の育成・確保を図ります。

### 1 担い手・農業後継者の育成支援

#### 【対策の方向】

中核的な役割を担う認定農業者や、後継者の育成を支援します。

#### 【取り組みの内容】

- 認定農業者の育成のため、農業経営改善計画の作成、実施を支援します。
- 指導農業士や農業士など、地域リーダーの養成を図るとともに、研修活動を支援します。
- 若手農業者による活動を通して、将来の担い手を育成するとともに、石狩市農業の魅力を発信します。
- 家族経営協定の締結を推進することにより、配偶者や後継者も主体的に経営に参画でき、意欲と能力を発揮できる環境を整備します。



JA いしかり青年部

### 2 新規就農者・新規参入者の受入環境の整備

#### 【対策の方向】

新卒やUターンによる新規就農や、他業種からの新規参入を促進します。

#### 【取り組みの内容】

- 北海道農業担い手育成センターなど関係機関と連携しながら、農業総合支援センターによる新規就農相談を実施します。
- 青年就農給付金事業などの積極的な活用により、新規就農者の増加と定着支援を図ります。
- 新規就農者、新規参入者への支援として、家賃、農地賃借料またはビニールハウスに対する助成を行うほか、研修の受け入れ農業者への支援を実施します。
- 指導農業士、農業士の養成により、就農後の支援体制の整備を図ります。

### 3 女性の経営参画の推進

#### 【対策の方向】

女性は農業経営の一翼を担っており、女性加工グループにより地元農産物を使用した加工品製造販売のほか、労働力の調整・管理など、活動の場を拡げています。男女共同参画の観点からも女性の経営参画を積極的に推進します。

#### 【取り組みの内容】

- 女性農業者の経営管理能力の向上や、農業生産、加工販売などに関する技術習得のための研修会の開催、及び女性のネットワークの強化に向けた情報提供を推進します。
- J A 女性部などが進める農産物加工について、関係機関と連携して販売先の開拓や P R の支援を行います。

### 4 雇用労働力の確保・強化

#### 【対策の方向】

農業の魅力、やりがいを伝えながら、多様な労働力の確保につながるグリーンサポーター制度などの充実を図ります。

#### 【取り組みの内容】

- グリーンサポーター制度の問題点を検証し、他分野と連携した求人や求人対象の拡大も視野に入れ、必要な対策を検討します。
- 雇用労働力を必要とする生産者による検討組織を設立するなど必要な対策を検討します。
- グリーンサポーター制度などの P R 活動を支援します。

### 5 農作業効率化の促進

#### 【対策の方向】

高齢化に伴う労働力不足への対応や、機械施設に対する投資負担を軽減し、経営の効率化を図るため、地域農業を支える農業法人の育成支援を行います。

また作業の効率化や経営の安定に寄与する機械導入などの補助制度について、関係機関と連携し、積極的な活用を図ります。

#### 【取り組みの内容】

- 農業者との話し合いを持つなど、地域の実情に応じた組織化の検討を行います。
- 法人化、コントラクター組織の設立を支援します。

## 6 効率的な土地利用の推進

#### 【対策の方向】

農地利用の集積により土地利用の効率化と農業経営の合理化を図るとともに、土地改良事業の推進により生産性の向上を図ります。

#### 【取り組みの内容】

- 農地中間管理事業などの活用により農地の集積と団地化を図ります。
- 土地改良事業に関する補助事業などの情報提供と、地域との協議による基盤整備を進めます。
- 担い手への利用集積などにより農地の遊休化を防ぐとともに、耕作放棄地については、実態に応じた方策を検討し解消を図ります。

数値目標

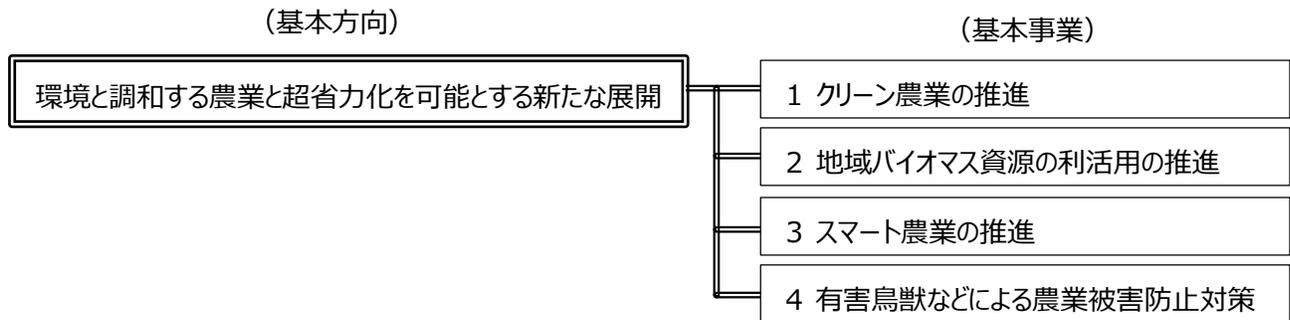
指 標	参考値	数値目標 (H33)
指導農業士・農業士数の新規認定数 (平成 29 年度以降の合計数)	12 人 (H27 年度末)	5 人
新規就農者・新規参入者数 (平成 29 年度以降の合計数)	16 人 (H24~H28)	10 人
グリーンサポーター登録数	280 人 (H27 年度末)	300 人

具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

項 目	具体的な施策・事業	重要業績評価指標 (KPI)
担い手・農業後継者の育成支援	指導農業士・農業士で構成する「半歩先を目指す会」が若手農業者への働きかけを行う	「半歩先を目指す会」 勉強会、交流会 毎年 3 回
新規就農者・新規参入者の受入環境の整備	北海道農業担い手育成センターなど関係機関と連携しながら、農業総合支援センターによる新規就農相談を実施する	新規就農相談会 毎年 1 回 新規就農相談件数 毎年 3 件
雇用労働力の確保・強化	JA のグリーンサポーター制度の充実を図りながら積極的な PR 活動を行う	募集チラシ発行 毎年 3 回

## 基本方向 2 環境と調和する農業と超省力化を可能とする新たな展開

### ■ 施策の体系



### ■ 現状と課題

#### ○グリーン農業の推進

農作物の安全・安心を求める声に対応するとともに、環境負荷の低減や自然循環機能の増進が重要になっています。

#### ○地域バイオマス資源の利活用の現状

高岡地区の一部で稲わらの回収を行なっているほか、浜益区では回収した稲わらを堆肥化し地域へ供給しています。一方、その他の多くの地域では、土づくりの重要性を認識しながらも、需要に見合った堆肥を確保できていない状況にあります。

また、家畜排せつ物については、各畜産農家において堆肥化して利用するなど適切に処理されているところですが、土壌の理化学性改善にとって重要な資源となるものであることから、需給のバランスを捉えた有効活用が求められています。

#### ○スマート農業の推進

農家戸数の減少や農業従事者の高齢化により労働力不足が深刻化しており、農産物の品質向上や労働時間生産コスト削減をめざす I C Tを活用したスマート農業の推進が求められます。

## ○有害鳥獣被害の防止

有害鳥獣による農業被害額は 14,341 千円（平成 27 年度）など被害が拡大しており、市内における駆除や被害防止対策など取り組みの強化が求められています。

### ■めざす方向

家畜排せつ物や稲わらなど地域で発生するバイオマス資源を有効活用し、農業生産の基本である土づくりを進めます。

また、農業生産の維持・拡大に向けて省力化や資材などの節減を可能にする I C T を活用した農業機械の導入を推進します。

そのほか、有害鳥獣の計画的な捕獲、農用地への侵入防止策柵の整備を支援し、被害の軽減を図ります。

## 1 クリーン農業の推進

### 【対策の方向】

環境との調和に配慮した、安全・安心、品質の高い農産物の生産のため、減農薬・減化学肥料農業を推進します。

### 【取り組みの内容】

- 農産物の安全性に対する関心が高まる中、栽培履歴の記録や情報開示に向けた啓発を行います。
- エコファーマーに対するメリットの啓発を行い、認定を受けるための支援を行います。
- YES! clean 農産物栽培の奨励を行います。
- YES! clean を取得している作物の P R を行います。
- いしかり環境保全組合が取り組む、環境保全型農業を積極的に支援します。

## 2 地域バイオマス資源の利活用の推進

### 【対策の方向】

家畜排せつ物や稲わら、もみ殻など地域バイオマス資源の有効活用による土づくりを推進します。

### 【取り組みの内容】

- 稲わらの回収を推進します。
- 家畜排せつ物や稲わら、もみ殻などを活用した土づくりを推進します。

## 3 スマート農業の推進

### 【対策の方向】

ロボット技術や I C T などの先端技術を活用し、超省力化や高品質生産等を可能にする次世代農業を検討します。

### 【取り組みの内容】

- 超省力化、大規模生産が可能となる G P S 搭載トラクターなど農機の自動操舵システムの導入を図ります。
- 多収、高品質生産の実現に向け、センシング技術やデータ化など精密農業の展開を検討します。
- 収穫物の積み下ろしなど重労働の軽労化を可能とするアシストスーツについて、体験講習会を開催するなど導入を検討します。
- 消費者、実需者に安心と信頼を提供できるようクラウドシステムを活用しながら栽培履歴の見える化の取り組みを検討します。
- I C T を活用し、輸出を含めた販路の拡大や流通・物流システムの構築を検討します。

## 4 有害鳥獣などによる農業被害防止対策

### 【対策の方向】

アライグマやエゾシカ、鳥類など有害鳥獣による農業被害が問題となっており、意向調査でも電気柵などの「設置が必要」、「既に設置済みだがまだ必要」が 73%の回答※（P53 表 44）となっており、今後も関係機関と連携しながら被害の軽減を図ります。

## 【取り組みの内容】

- 農業被害の適切な実態把握を行います。
- 鳥獣被害対策実施隊と連携して農業被害の軽減を図ります。
- 補助事業等の活用による電気柵、ワナ等の導入等有効な対策を図ります。
- 駆除（捕獲）した鳥獣について、ジビエの活用を検討します。

## 数値目標

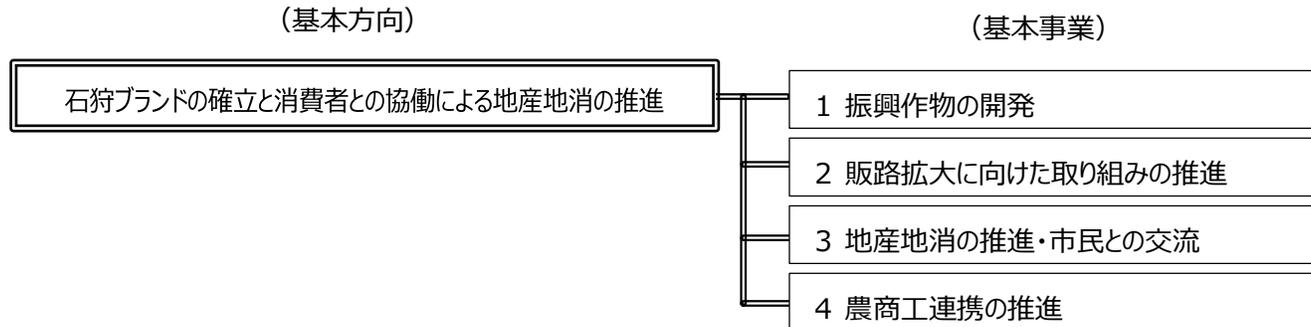
指 標	参考値	数値目標（H33）
エコファーマー認定戸数	13戸 (H27年度末)	10戸
農業機械運転アシストシステムの導入	-	50台
有害鳥獣の被害額（平成27年度との対比）	14,578千円 (H27年度)	500万円減

## 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

項 目	具体的な施策・事業	重要業績評価指標（KPI）
グリーン農業の推進	いしかり環境保全組合への加入を働きかける	講習会開催・チラシ配付 毎年1回
スマート農業の推進	モデル地区（基地局設置）を設定する	5年間で1地区
有害鳥獣などによる 農業被害防止対策	鳥獣被害対策実施隊と連携しながら電気柵を設置する	5年間で100km増

## 基本方向3 石狩ブランドの確立と消費者との協働による地産地消の推進

### ■ 施策の体系



### ■ 現状と課題

#### ○競争力の強化

農畜産物価格の低迷に加え、自由貿易への加速や関税撤廃・削減による長期的な影響が懸念される中、所得の確保と地域農業の活性化、稼ぐ力の強化を図るためには、良質な生産はもとより高付加価値な加工品の開発や石狩ブランドの確立など、他地域で生産される農畜産物との差別化と知名度の向上が必要です。

#### ○地産地消意識の高まり

消費者の食の安全・安心や健康への関心の高まりにより、生産者の顔が見える地元の新鮮な野菜を求める地産地消の動きは依然として広がっています。この動きに対応し、これまで、いしかり地産地消の店認証制度の創設や地物市場「とれのさと」などにより提供機会の拡大を図ってきましたが、さらなる消費拡大のためには、地元農産物の種類や優位性についての認知度を高めていく必要があります。

### ■ めざす方向

地域の特色ある資源を活かした新商品の開発や、商工業や観光業との連携によるブランドづくりなど、石狩ならではの食の総合産業化をめざします。

また、高品質・高付加価値の農産物加工品を海外市場へ試験的に輸出する試みなどを通して販路の拡大をめざします。

「地産地消」は、生産者の顔の見える安全・安心な農産物を求める消費者の声に応えるだけでなく、農業者にとっては販路の拡大や地域農業の活性化につながるものであり、同時にフードマイレージの縮小による環境負荷の低減に貢献するものです。市民と生産者が一体となって農業を振興する「地産地消」を一層推進します。

また、平成 30 年に厚田区にオープン予定の道の駅石狩「あいロード厚田」を起点に厚田・浜益区を中心に地産地消を推進します。

## 1 振興作物の開発

### 【対策の方向】

振興作物の拡大に向けた研究を進めます。

### 【取り組みの内容】

- 冬期に栽培できる品目の選定や、積雪寒冷な気候を利用した付加価値化を検討します。
- 直売所などにおける需要動向の見極めと、新規作物の生産振興を図ります。
- 試験栽培圃場により、振興作物の検討を行います。

## 2 販路拡大に向けた取り組みの推進

### 【対策の方向】

農産物を含めた石狩産品を石狩ブランドとして戦略的に売り出す物産振興基盤の整備をめざすとともに、海外販路開拓を図りながら将来の輸出ロット拡大につなげるなど、海外も視野に入れた販路の拡大をめざします。

### 【取り組みの内容】

- 農産物を含めた石狩産品を戦略的に発信する体制の整備を図ります。
- 国内外の販路拡大に向け、石狩ブランドとして農産物加工品などの情報発信を図ります。

### 3 地産地消の推進・市民との交流

#### 【対策の方向】

いしかり食と農の未来づくり事業や JA 青年部、市民による農業応援団の活動を通して、地域での地産地消を推進します。

#### 【取り組みの内容】

- 市民に対する石狩産農畜産物についての情報提供を強化します。
- 市内飲食店における農畜産物の利用を促進します。
- 学校給食における地場産品の積極的な活用を推進します。
- 食への理解や農業体験の機会の提供を通して食育を推進します。
- イベント開催や地物市場「とれのさと」（農産物加工体験施設）、道の駅石狩「あいろーど厚田」の利用により農業者と市民の交流を促進します。
- 農を基点として健康づくりへの役割を担うとともに地産地消との相乗効果をめざします。

### 4 農商工連携の推進

#### 【対策の方向】

農漁業と2次産業（食品加工業）、3次産業（販売・観光）の連携を図りながら、6次産業化の担い手として期待される女性農業者などを支援します。

#### 【取り組みの内容】

- 異業種交流会（石狩イコロの会）を通じた情報交換や連携の強化を図ります。
- 観光業や大学と連携した特産品の開発を推進します。
- 農産物について、生産者と実需者とのマッチングを推進します。
- 農業者の起業や加工、販売への取り組みを支援します。

数値目標

指 標	参考値	数値目標 (H33)
学校給食の地場産品使用割合	53.2% (H27 年度)	55%
地産地消の店認証店数	42 店 (H27 年度末)	45 店
地物市場「とれのさと」来場者数	16.9 万人 (H27 年度)	20 万人
道の駅石狩「あいろーど厚田」来場者数	-	17.5 万人 ※

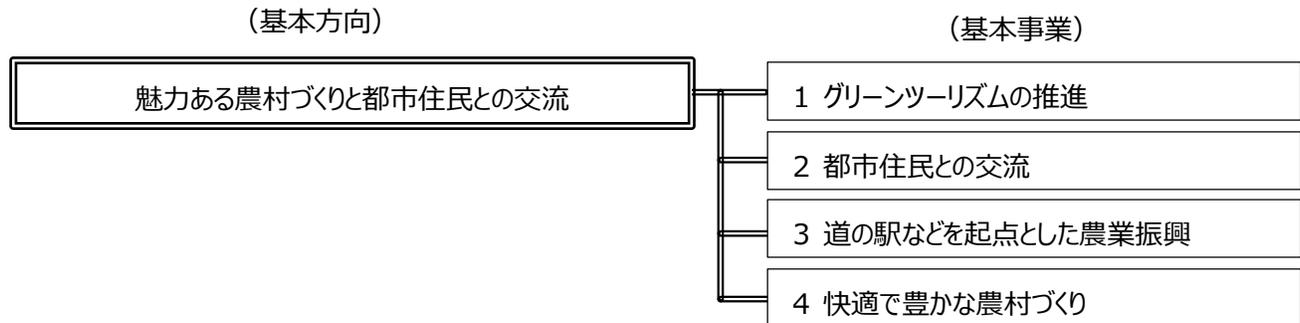
(参考) ※道の駅石狩「あいろーど厚田」来場者数はオープン時の見込み数

具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

項 目	具体的な施策・事業	重要業績評価指標 (KPI)
地産地消の推進・市民との交流	学校給食において石狩産農産物を多く使用する 「いしかりデー」を取り入れる	毎年 1 回
	地産地消の店認証店を増やすためキャンペーンの 実施、ガイドマップ発行などを実施する	キャンペーン毎年 1 回 ガイドマップ隔年発行
	イベント開催やチラシ広告により集客増進を図る	イベント開催 毎年 20 回

## 基本方向 4 魅力ある農村づくりと都市住民との交流

### ■ 施策の体系



### ■ 現状と課題

#### ○ 都市住民の受入態勢

石狩市は、都市住民に対して農産物や農作業体験の場を提供するとともに、農産物の販路拡大や農村の活性化を推進するため、平成 22 年 4 月（最新：H27.4）に「農村滞在型余暇活動機能整備計画」を策定しましたが、都市住民の受入体制は十分とは言えない状況にあります。

### ■ めざす方向

地域の農業生産活動や農村景観、伝統的文化など多様な地域資源を活かし、都市住民に対し、地域農産物の提供を始め、農作業、加工などの農業体験など余暇活動の場を提供するとともに、販路の拡大や農業所得の向上を図ります。

#### 1 グリーンツーリズムの推進

##### 【対策の方向】

石狩市の魅力ある景観や農産物を最大限に活かしたグリーンツーリズムを推進します。

### 【取り組みの内容】

- 地域の個性ある観光素材の情報発信を行います。
- 農作業体験やファームインなど受け入れ体制整備を推進します。
- ふれあいファームの登録を推進します。
- 地物市場「とれのさと」の機能拡充などについて検討します。
- 郷土料理や農産物、観光資源の活用により、インバウンドを含めた観光客誘致体制の整備を検討します。



地物市場「とれのさと」

## 2 都市住民との交流

### 【対策の方向】

農業・農村に対する理解を深めてもらうとともに、地域農業を活性化させるため、都市住民との交流を促進します。

### 【取り組みの内容】

- 石狩市の農業や農産物に関する情報発信を強化します。
- 食への理解や農業体験機会の提供を通して食育推進に活かします。
- イベント開催や地物市場「とれのさと」（農産物加工体験施設）、道の駅石狩「あいろーど厚田」の利用により、農業者と都市住民の交流を促進します。

### 3 道の駅などを起点とした農業振興

#### 【対策の方向】

平成 30 年、厚田区にオープン予定の道の駅石狩「あいろーど厚田」の機能や集客力を高めるとともに、そのコンシェルジュ機能を活かし、周辺地域の農業振興を図ります。

#### 【取り組みの内容】

- 地元農産物販売や顧客の周辺観光農園等への誘導などを通じて、グリーンツーリズムの推進や地域農業の活性化を図ります。
- 道の駅石狩「あいろーど厚田」を活用し、農業者と消費者の交流を促進します。
- 厚田・浜益区などを中心に農家民泊の体制整備を図ります。



道の駅石狩「あいろーど厚田」イメージ

### 4 快適で豊かな農村づくり

#### 【対策の方向】

農村地帯の美しい景観や農地の保全を目的とした取り組みを行います。

#### 【取り組みの内容】

- 中山間地域等直接支払推進事業、多面的機能支払事業を活用し、自然環境や景観の保全・形成、および農地・農業用排水路などの資源の長寿命化のための補修等を行います。

数値目標

指 標	参考値	数値目標 (H33)
グリーンツーリズム・農業体験参加者数	942 人 (H27 年度)	1,000 人
地物市場「とれのさと」来場者数 (再掲)	-	20 万人
道の駅石狩「あいろーど厚田」来場者数 (再掲)	-	17.5 万人 ※
中山間地域等直接支払推進事業の取組面積 多面的機能支払事業の取組面積	656ha 2,806ha (H27 年度末)	656 ha 2,806 ha

(参考) ※道の駅石狩「あいろーど厚田」来場者数はオープン時の見込み数

具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

項 目	具体的な施策・事業	重要業績評価指標 (KPI)
グリーンツーリズムの推進	バスツアーや食と農のカレッジを開催するとともに、 創意工夫を凝らした魅力ある体験づくりをめざす	体験講座数 毎年 50 講座
都市住民との交流	イベント開催やチラシ広告により集客増進を図る (再掲)	イベント開催 毎年 20 回
快適で豊かな農村づくり	(中山間) 集落が共同で水路・農道等の維持 管理、景観など農地保全が図られるよう、快適な 集落環境づくりを促進する (多面的) 資源保全組合が共同で水路・農道 等の維持管理、景観など農地保全が図られるよ う、快適な集落環境づくりを促進する	集落組合数 7 組合  資源保全組合数 7 組合

## V. 地域別戦略

### 1 北生振・美登位地区

#### ■ 現状と課題

広大な平野部で、水稻、小麦、馬鈴薯、人参、ブロッコリー、さやえんどうなど多くの品目が栽培されており、水田の水確保のために調整池が設置されるなど基盤整備も進んでいます。しかしながら、近年は連作障害による収量の低下などが懸念されており、その対策が急がれています。

#### ■ 対策の方向

主産地として生産性の向上

#### ■ 取り組みの内容

##### ○ 土づくりの推進と排水対策

- 土壌診断の取り組みを強化し作物に適した土壌環境を作るなど、安全かつ高品質な農産物生産の確立を図ります。
- 新規作物の導入などによる輪作体系の確立を図ります。
- 稲わら堆肥など有機物の計画的施用の推進を図ります。
- 安定的な生産基盤を確保するため排水対策を強化します。



北生振地区のさやえんどう



美登位地区の水稻

## 2 高岡地区

### ■現状と課題

畑地かんがい施設の活用により、ミニトマト、メロンなどの施設栽培が盛んですが、小麦、ブロッコリー、馬鈴薯などの栽培も行っています。施設野菜については、地力の増進を図りながら、ミニトマトのブランド力のさらなる向上が課題となっています。

### ■対策の方向

露地・施設園芸の推進およびロケーションを活かした都市と農村の交流促進

### ■取り組みの内容

#### ○施設園芸の推進

- 新規参入の推進により施設園芸の拡大を図ります。
- 連作障害回避や品質の維持向上を図るため、クリーニングクロープやビニールハウスの増棟を検討します。
- 新規作物の導入推進のほか、畑地かんがい施設をさらに有効に活用するための方策について、地域と協議検討します。
- ミニトマトのブランド力のさらなる向上を図ります。

#### ○グリーンツーリズムの推進

- 魅力ある景観を活かしたグリーンツーリズムへの積極的な取り組みを促進します。
- 新たな取り組みをめざす農業者には、必要な支援を行います。



ミニトマトの収穫作業

### 3 生振地区

#### ■ 現状と課題

飼料作物（牧草、デントコーン）を中心に、小麦、長いも、水稻などを栽培しています。経営耕地面積が比較的大きい一方、農業後継者が少ないことが課題となっています。

#### ■ 対策の方向

法人の支援および新規振興作物による新たな農業の展開



オリジナルキャラクター「ブクリョウ君」

#### ■ 取り組みの内容

##### ○ 地域営農組織など法人の支援

➤ 高齢化による離農などにより労働力不足が懸念されていることから、法人の支援を行います。

##### ○ 漢方生薬の里づくり

- 漢方生薬「茯苓<sup>フクリョウ</sup>」の国産化プロジェクトを展開する法人の栽培施設を拠点とし、地域農業者や新規参入者への横展開を図りながら、「茯苓の里 いしかり」の確立をめざします。
- 障がい者雇用の創出による農福連携を図ります。

#### 茯苓（ブクリョウ）とは

サルノコシカケ科のキノコの一つで、その菌糸が固まってきた塊り（菌核）です。森林の中の松（アカマツとクロマツ）の根に寄生するもので形はキクイモに似ています。割ると中身は白く、これを乾燥して生薬として仕上げます。効能としては強壯、利尿、鎮静作用があります。漢方では八味地黄丸、五苓散、桂枝茯苓丸、加味逍遙散など幅広く利用されています。



## 4 厚田区

### ■ 現状と課題

農地の大半が生産に不利な中山間地域にあり、生産基盤や農村景観の維持を図りながら生産活動を継続しているものの農業者の高齢化が顕著であり、その対策が課題となっています。

農業生産としては、道内有数の食味を誇る水稻のほか、てん菜、南瓜、馬鈴薯など土地利用型農業を中心に、アスパラガスやメロンなども生産されています。また一方で、取り組み農家は減少しているものの主産地に位置づけられている伝統野菜「札幌大球」の生産も行われています。

### ■ 対策の方向

施設園芸の拡大と法人化の推進による経営の効率化と道の駅石狩「あいろーど厚田」を核とした地域農業の活性化

### ■ 取り組みの内容

#### ○畑地かんがいの有効活用と施設の維持

- 畑地かんがいの受益エリアである聚富地区において、施設の維持に努めながら、これを有効活用する新規作物の導入や施設園芸の推進を図ります。

#### ○地域営農組織の支援

- 高齢化による生産活動維持が懸念されていることから、農地の利用集積を図りつつ、水稻育苗や防除などの共同作業組織の支援を強化します。

#### ○直販物の生産拡大による道の駅を核とした地域活性化

- ニーズを的確に捉え、「あつた米」のブランド化や直販野菜等の生産拡大による道の駅石狩「あいろーど厚田」を核とした地域活性化を図ります。



厚田こだわり隊直売の様子

## 5 浜益区

### ■現状と課題

農業生産は、水稻が中心となっておりますが、肉用牛との複合経営や果樹栽培など特徴的な経営も見られるものの、農業者の高齢化が顕著であり、その対策が課題となっております。

肉用牛生産は繁殖経営を主とするため、「浜益牛」としての流通は少なく、イベントなどによる限定的な地元還元にとどまっており、米と併せて肉用牛の生産維持とブランド化が課題となっております。

### ■対策の方向

観光果樹園や肉用牛など地域特性を活かした農業の振興

### ■取り組みの内容

#### ○観光果樹の振興

- 果樹を利用した加工品開発を推進します。
- 観光果樹園によるグリーンツーリズムの推進とPRの強化を図ります。



さくらんぼ狩りの様子

#### ○肉用牛の振興とブランド化

- 生産農家による市営牧野への関与を高め、生産者自らが経営感覚を発揮しながら、生産環境の改善に向けて主体的に取り組むシステムづくりを検討します。
- 低コスト施設の導入のほか、畜舎へ投資することなく増頭が可能な周年預託システムなど、モデル的な事業を検討します。
- 優良繁殖牛の導入とコスト低減のための繁殖肥育一環経営を推進します。
- 生産を維持し、輸出を含めた販路拡大の可能性を探りながらブランド化をめざします。

#### ○米のブランド化の推進

- 高品質（低タンパク）、良食味である「浜益米」のPRを推進します。
- 道の駅石狩「あいろーど厚田」を拠点としながら、関係機関とブランド化に向けての検討協議を行います。

## VI. 参考資料

### 1. 計画策定の体制と経過

#### ■ 第4期石狩市農業振興計画策定委員会委員名簿

(敬称略)

職名	氏名	所属等
会長	小林 国之	有識者（北海道大学大学院農学研究院准教授）
副会長	大田 富夫	石狩市農業協同組合 営農部長
委員	増田 崇紘	農業者（石狩市農業協同組合 青年部長）
"	川崎 寿子	農業者（石狩市農業協同組合 女性部長）
"	加藤 孝	農業者（北石狩農業協同組合 西当別ブロック監事）
"	久慈 貞子	農業者（北石狩農業協同組合 女性部長）
"	長谷川 司	北石狩農業協同組合 厚田支所長
"	増子 優子	石狩農業改良普及センター 石狩北部支所長
"	中村 成樹	石狩土地改良区 参事
"	佐橋 進	石狩商工会議所 事務局長
"	尾山 忠洋	石狩北商工会 事務局長
"	菅野 哲哉	一般社団法人石狩観光協会 事務局長
"	藤沢 和恵	石狩イコロの会 幹事長
"	羽田 美智代	いしかり食と農の未来づくり推進委員会 委員長
"	長 良幸	いしかり環境保全組合 代表
"	若林 厚一郎	公募委員
"	佐藤 武三	公募委員

■石狩市産業振興関連計画策定委員連絡調整会議名簿

(敬称略)

所属する策定検討組織	氏名	所属団体等
農業振興計画策定委員会	小林 国之	北海道大学大学院農学研究院
農業振興計画策定委員会	大田 富夫	石狩市農業協同組合
漁業振興計画検討関係機関連絡会議	和田 郁夫	石狩湾漁業協同組合
漁業振興計画検討関係機関連絡会議	秋 芳男	指導漁業士
地場企業等活性化審議会	北山 隼	中小企業診断士
地場企業等活性化審議会	酒井 志津子	石狩商工会議所
観光振興計画検討会	吉田 保雄	石狩観光協会
観光振興計画検討会	吉田 和彦	地域振興アドバイザー

■計画策定の経過

年月日	経過・事象等
平成 28 年 7 月 4 日	<p>第 1 回第 4 期石狩市農業振興計画策定委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○会長及び副会長の選任</li> <li>○提言依頼（市長→会長）</li> <li>○第 4 期石狩市農業振興計画の策定について</li> <li>○第 3 期計画及び施策の評価について</li> <li>○農業経営に関する意向調査の実施について</li> <li>○石狩市の農業の概要について</li> </ul>
平成 28 年 8 月	<p>農業経営に関する意向調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○調査対象数：372（石狩:203 厚田:103 浜益:66）※（P36 表 1）</li> <li>○回答数：142（石狩:72 厚田:41 浜益:27）</li> <li>○回答率：38.2%（石狩:35.5% 厚田:39.8% 浜益:40.9%）</li> <li>○調査期間：8 月 5 日～8 月 31 日</li> <li>○調査対象：経営者・配偶者・後継者</li> </ul>
平成 28 年 10 月 14 日	<p>第 2 回第 4 期石狩市農業振興計画策定委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○農業経営に関する意向調査集計結果について</li> <li>○ワークショップ（グループ討議）について</li> </ul>

平成 28 年 10 月 24 日	<p>第 1 回産業振興関連計画（4 計画）策定委員連絡調整会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各計画の進捗状況等について</li> <li>○共通テーマ（重点施策・プロジェクト等）について（意見交換） ・担い手育成、労働力の確保 ・物産振興、ブランド化 など</li> </ul>
平成 28 年 11 月 7 日	<p>第 3 回第 4 期石狩市農業振興計画策定委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○第 4 期石狩市農業振興計画の素案について</li> </ul>
平成 28 年 11 月 21 日	<p>第 4 回第 4 期石狩市農業振興計画策定委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○第 4 期石狩市農業振興計画の素案について</li> </ul>
平成 28 年 12 月 20 日	<p>パブリックコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○第 4 期石狩市農業振興計画（案）について</li> <li>○期間：H28.12.20～H29.1.20</li> </ul>
平成 29 年 2 月 6 日	<p>第 2 回産業振興関連計画（4 計画）策定委員連絡調整会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各計画の概要について</li> <li>○意見交換</li> </ul>
平成 29 年 3 月 17 日	<p>第 5 回第 4 期石狩市農業振興計画策定委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○第 4 期石狩市農業振興計画の決定について</li> <li>○提言（会長⇒市長）</li> </ul>

## 2. 農業経営に関する意向調査（集計結果）

本計画の策定に当たり、市内の農業者（経営者・配偶者・後継者）を対象に、現在の営農の課題や、概ね5年後の将来を見据えた経営の意向などを調査した結果をまとめました。（※回答のあったもののみを集計）

■実施年月 平成28年8月5～31日

■調査対象数及び回答数、回答率

	全体	石狩	厚田	浜益
調査対象数	372	203	103	66
回答数	142	72	41	27
回答率	38.2%	35.5%	39.8%	40.9%

※表1

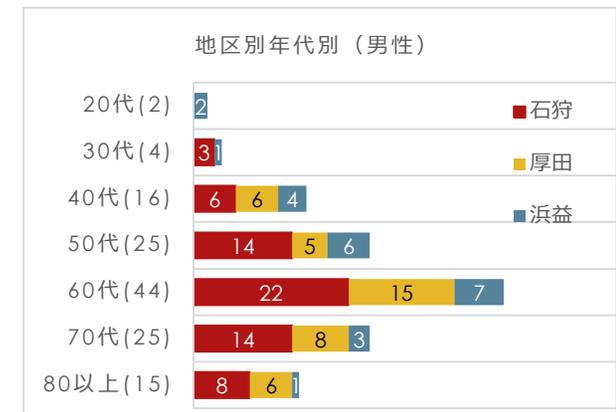
■意向調査の回答内容

●あなたのお住まい、年齢、性別は？

[経営者]

(男性)	全体		石狩		厚田		浜益	
20代	2	1.5%					2	8.3%
30代	4	3.1%	3	4.5%			1	4.2%
40代	16	12.2%	6	9.0%	6	15.0%	4	16.7%
50代	25	19.1%	14	20.9%	5	12.5%	6	25.0%
60代	44	33.6%	22	32.8%	15	37.5%	7	29.1%
70代	25	19.1%	14	20.9%	8	20.0%	3	12.5%
80代以上	15	11.4%	8	11.9%	6	15.0%	1	4.2%
計	131	100%	67	100%	40	100%	24	100%

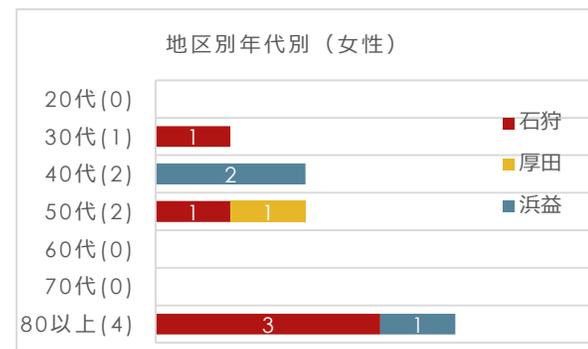
※表2



※図7

(女性)	全体		石狩		厚田		浜益	
20代								
30代	1	11.1%	1	20.0%				
40代	2	22.2%					2	66.7%
50代	2	22.2%	1	20.0%	1	100%		
60代								
70代								
80代以上	4	44.5%	3	60.0%			1	33.3%
計	9	100%	5	100%	1	100%	3	100%

※表 3



※図 8

[参考] 石狩地区の内訳

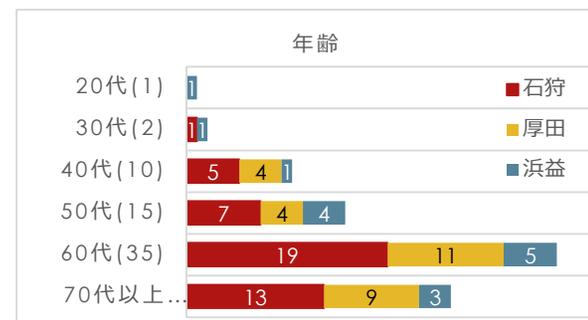
男性・女性	生振	北生振・美登位・志美	高岡・五の沢・八幡	花川・樽川・花畔	その他
20代					
30代	1		1		1
40代	1	1	3	1	
50代	4	2	1	6	1
60代	3	4	9	5	1
70代	7	2	3	2	
80代以上	3		1	4	2
計	19	9	18	18	3

※表 4

[配偶者]

	全体		石狩		厚田		浜益	
20代	1	1.5%					1	8.3%
30代	2	3.1%	1	4.5%			1	4.2%
40代	10	12.2%	5	9.0%	4	15.0%	1	16.7%
50代	15	19.1%	7	20.9%	4	12.5%	4	25.0%
60代	35	33.6%	19	32.8%	11	37.5%	5	29.1%
70代以上	25	19.1%	13	20.9%	9	20.0%	3	12.5%
計	88	100%	45	100%	28	100%	15	100%

※表 5

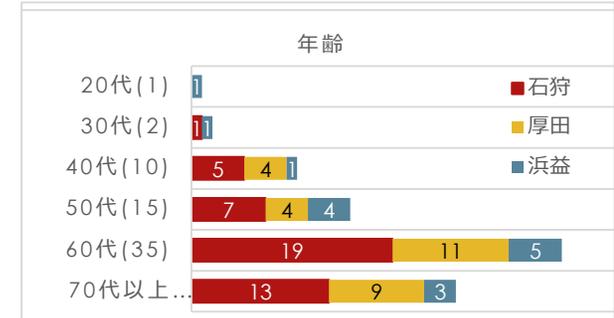


※図 9

[後継者]

(年齢)	全体		石狩		厚田		浜益	
20歳未満	2	5.5%	1	5.9%	1	7.7%		
20代	9	25.0%	3	17.6%	2	15.3%	4	66.7%
30代	15	41.7%	8	47.1%	5	38.5%	2	33.3%
40代以上	10	27.8%	5	29.4%	5	38.5%		
計	36	100%	17	100%	13	100%	6	100%

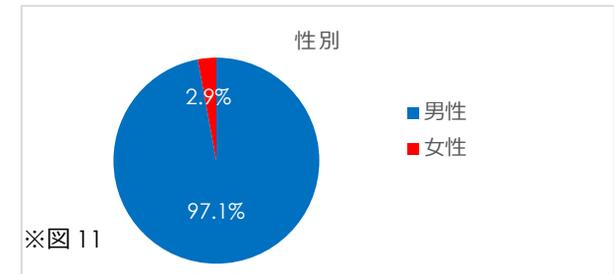
※表 6



※図 10

(性別)	全体		石狩		厚田		浜益	
男性	34	97.1%	16	100%	12	92.3%	6	100%
女性	1	2.9%			1	7.7%		
計	35	100%	16	100%	13	100%	6	100%

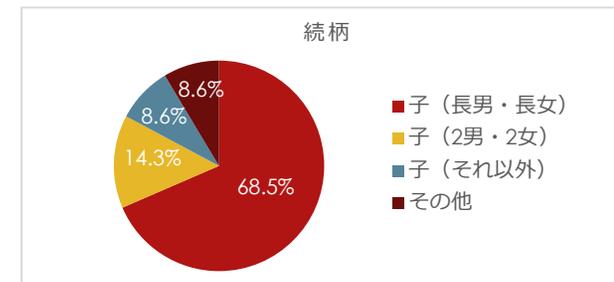
※表 7



※図 11

(続柄)	全体		石狩		厚田		浜益	
子(長男・長女)	24	68.5%	14	87.5%	7	53.8%	3	50.0%
子(2男・2女)	5	14.3%	2	12.5%	1	7.7%	2	33.3%
子(それ以外)	3	8.6%			3	23.1%		
その他	3	8.6%			2	15.4%	1	16.7%
計	35	100%	16	100%	13	100%	6	100%

※表 8 ※その他=孫



※図 12

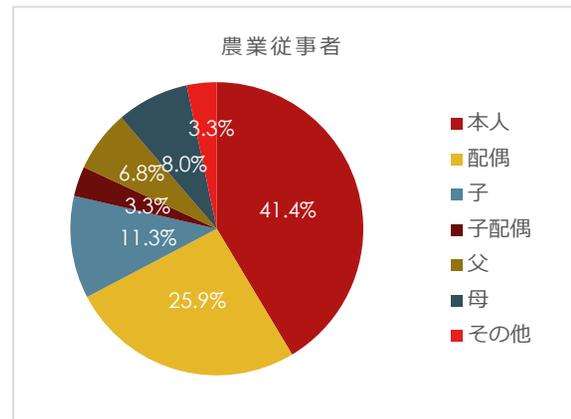
●あなたのご家族で農業に従事している人はどなたか？本人を含め合計人数は？

[経営者]

(農業従事者)

農業従事者	全体		石狩		厚田		浜益	
本人	139	41.4%	71	42.8%	41	40.6%	27	39.1%
配偶者	87	25.9%	45	27.1%	27	26.7%	15	21.7%
子	38	11.3%	21	12.7%	13	12.9%	4	5.8%
子の配偶者	11	3.3%	5	3.0%	4	4.0%	2	2.9%
父	23	6.8%	8	4.8%	6	5.9%	9	13.0%
母	27	8.0%	13	7.8%	7	6.9%	7	10.2%
その他	11	3.3%	3	1.8%	3	3.0%	5	7.3%
計	336	100%	166	100%	101	100%	69	100%

※表 9

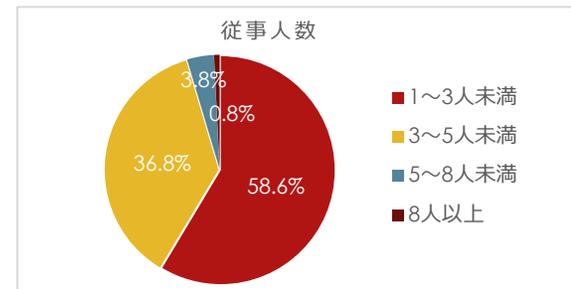


※図 13

(従事人数)

従事人数	全体		石狩		厚田		浜益	
1～3人未満	78	58.6%	43	59.7%	24	61.5%	11	50.0%
3～5人未満	49	36.8%	27	37.5%	14	35.9%	8	36.4%
5～8人未満	5	3.8%	2	2.8%	1	2.6%	2	9.1%
8人以上	1	0.8%					1	4.5%
計	133	100%	72	100%	39	100%	22	100%

※表 10

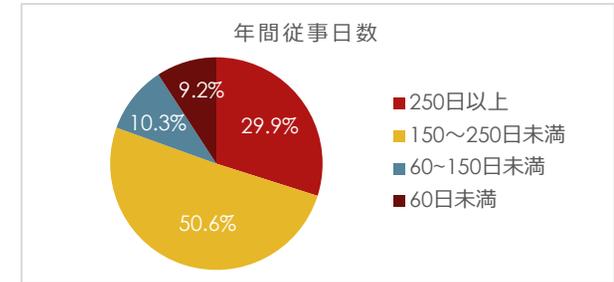


※図 14

[配偶者]

	全体		石狩		厚田		浜益	
250日以上	26	29.9%	14	31.1%	10	37.0%	2	13.3%
150～250日未満	44	50.6%	24	53.3%	13	48.2%	7	46.7%
60～150日未満	9	10.3%	4	8.9%	2	7.4%	3	20.0%
60日未満	8	9.2%	3	6.7%	2	7.4%	3	20.0%
計	87	100%	45	100%	27	100%	15	100%

※表 11



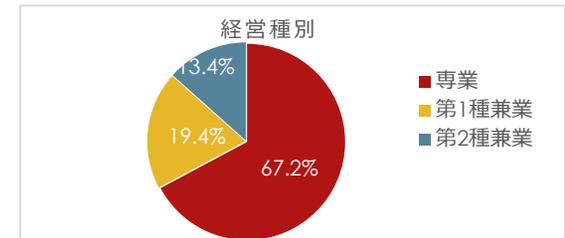
※図 15

●あなたの経営種別、経営方式、経営形態は？

(経営種別)

経営種別	全体		石狩		厚田		浜益	
専業	90	67.2%	55	79.7%	24	61.6%	11	42.3%
第1種兼業	26	19.4%	6	8.7%	13	33.3%	7	26.9%
第2種兼業	18	13.4%	8	11.6%	2	5.1%	8	30.8%
計	134	100%	69	100%	39	100%	26	100%

※表 12



※図 16

(経営方式)

経営方式	全体		石狩		厚田		浜益	
個人	137	97.2%	70	95.9%	40	97.6%	27	100%
法人	4	2.8%	3	4.1%	1	2.4%		
計	141	100%	73	100%	41	100%	27	100%

※表 13

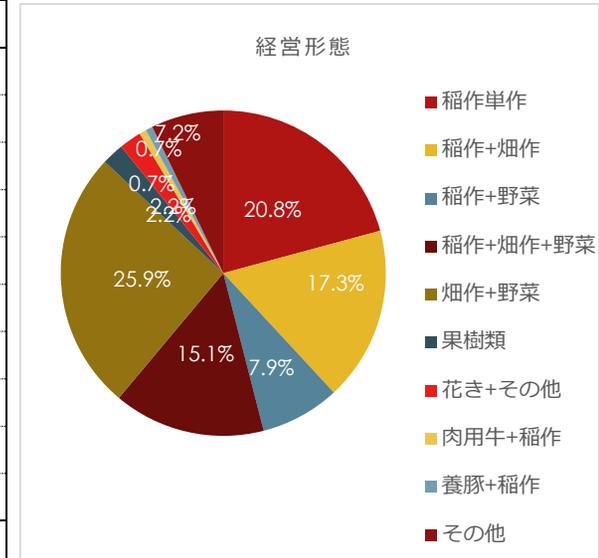


※図 17

(経営形態)

経営形態	全体		石狩		厚田		浜益	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
稲作単作	29	20.8%	4	5.7%	10	24.4%	15	100%
稲作+畑作	24	17.3%	7	10.0%	14	34.1%	3	2.4%
稲作+野菜	11	7.9%	5	7.2%	3	7.3%	3	2.4%
稲作+畑作+野菜	21	15.1%	11	15.7%	8	19.5%	2	2.4%
畑作+野菜	36	25.9%	33	47.2%	3	7.3%		2.4%
果樹類	3	2.2%	1	1.4%			2	2.4%
花き+その他	3	2.2%	1	1.4%	1	2.4%	1	2.4%
肉用牛+稲作	1	0.7%		%		2.4%	1	2.4%
養豚+稲作	1	0.7%		%		2.4%	1	2.4%
その他	10	7.2%	8	11.4%	2	2.4%		2.4%
計	139	100%	70	100%	41	100%	28	100%

※表 14 ※その他=野菜のみ、酪農+野菜、豆類+穀類



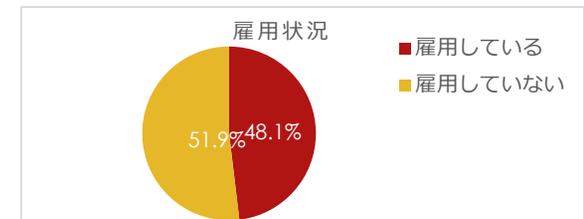
※図 18

●作業従事者（家族を除く）の雇用について、雇用状況、充足度、確保の方法は？

(雇用状況)

雇用状況	全体		石狩		厚田		浜益	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
雇用している	62	48.1%	33	50.0%	18	50.0%	11	40.7%
雇用していない	67	51.9%	33	50.0%	18	50.0%	16	59.3%
計	129	100%	66	100%	36	100%	27	100%

※表 15

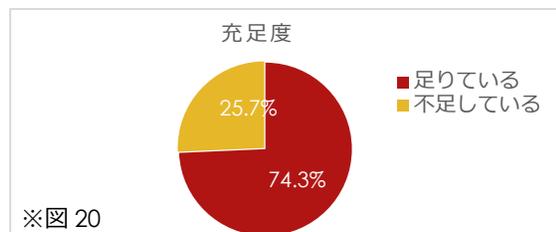


※図 19

(充足度)

充足度	全体		石狩		厚田		浜益	
足りている	81	74.3%	40	72.7%	24	77.4%	17	73.9%
不足している	28	25.7%	15	27.3%	7	22.6%	6	26.1%
計	109	100%	55	100%	31	100%	23	100%

※表 16

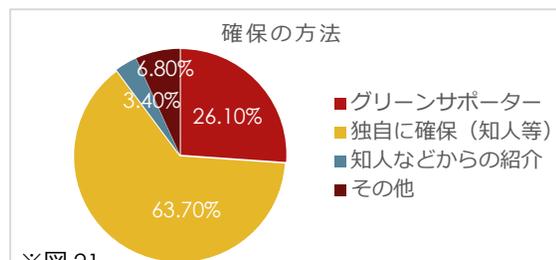


※図 20

(確保の方法)

確保の方法	全体		石狩		厚田		浜益	
グリーンサポーター	23	26.1%	22	47.8%	1	3.6%		
独自に確保 (知人等)	56	63.7%	21	45.7%	21	75.0%	14	100%
知人などからの紹介	3	3.4%	1	2.2%	2	7.1%		
その他	6	6.8%	2	4.3%	4	14.3%		
計	88	100%	46	100%	28	100%	14	100%

※表 17 ※その他 = 人材派遣会社、ハローワーク、求人誌、後継者のお嫁さん候補

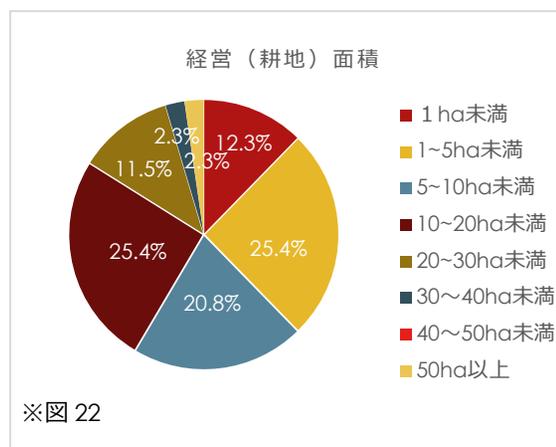


※図 21

●あなたの経営 (耕作) 面積は？

	全体		石狩		厚田		浜益	
1 ha 未満	16	12.3%	12	19.0%	1	2.5%	3	11.1%
1~5ha 未満	33	25.4%	16	25.4%	6	15.0%	11	40.8%
5~10ha 未満	27	20.8%	10	15.9%	12	30.0%	5	18.5%
10~20ha 未満	33	25.4%	15	23.8%	12	30.0%	6	22.2%
20~30ha 未満	15	11.5%	6	9.5%	7	17.5%	2	7.4%
30~40ha 未満	3	2.3%	2	3.2%	1	2.5%		
40~50ha 未満								
50ha 以上	3	2.3%	2	3.2%	1	2.5%		
計	130	100%	63	100%	40	100%	27	100%

※表 18



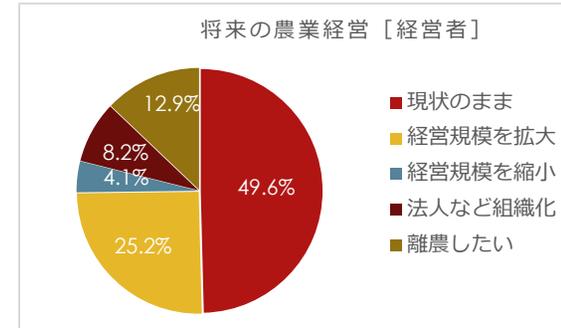
※図 22

●将来（概ね5年後）の農業経営をどのように考えるか？

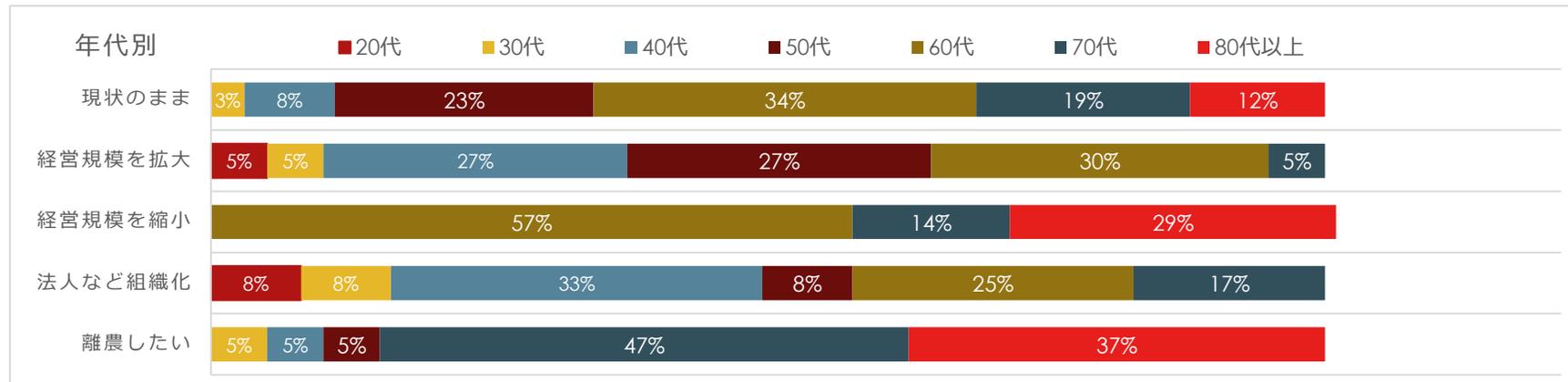
[経営者の回答]

(経営者)	全体		石狩		厚田		浜益	
現状のまま	73	49.6%	37	50.0%	22	53.7%	14	43.7%
経営規模を拡大	37	25.2%	15	20.3%	11	26.8%	11	34.4%
経営規模を縮小	6	4.1%	5	6.7%			1	3.1%
法人など組織化	12	8.2%	6	8.1%	2	4.9%	4	12.5%
離農したい	19	12.9%	11	14.9%	6	14.6%	2	6.3%
計	147	100%	74	100%	41	100%	32	100%

※表 19



※図 23

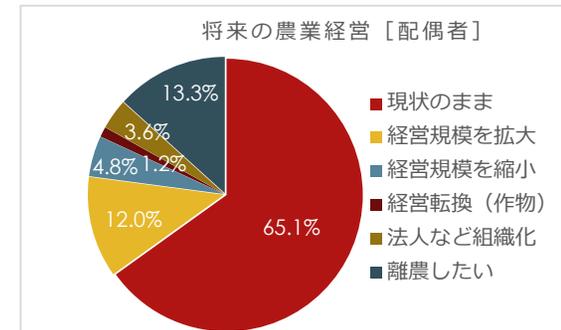


※図 24

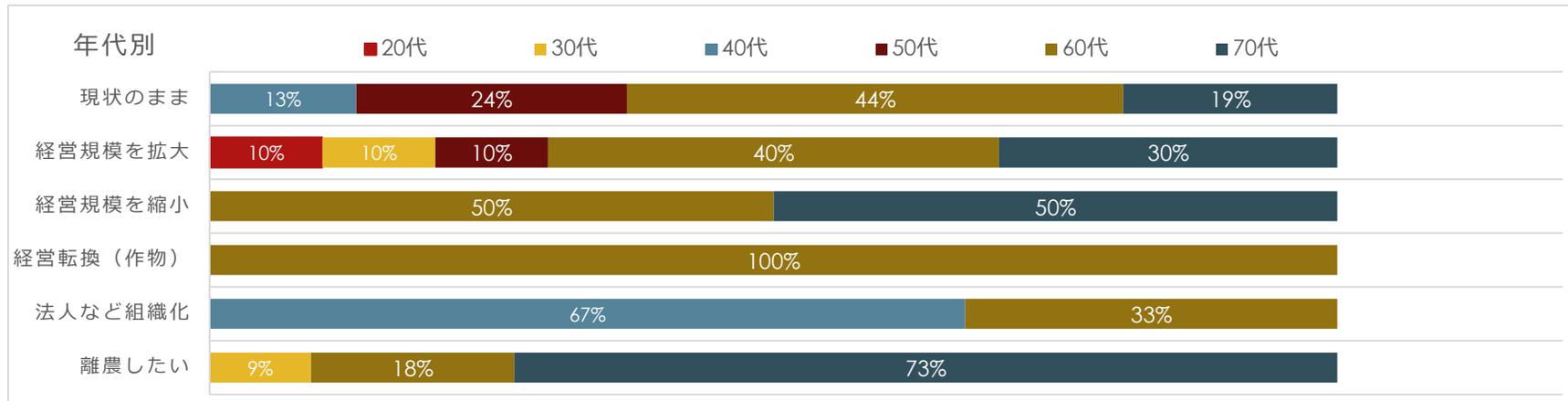
[配偶者の回答]

(配偶者)	全体		石狩		厚田		浜益	
現状のまま	54	65.1%	28	63.7%	18	72.0%	8	57.1%
経営規模を拡大	10	12.0%	5	11.3%	1	4.0%	4	28.6%
経営規模を縮小	4	4.8%	4	9.1%				
経営転換（作物）	1	1.2%	1	2.3%				
法人など組織化	3	3.6%	1	2.3%	2	8.0%		
離農したい	11	13.3%	5	11.3%	4	16.0%	2	14.3%
計	83	100%	44	100%	25	100%	14	100%

※表 20



※図 25

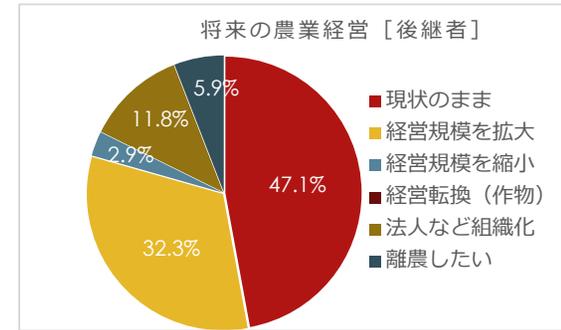


※図 26

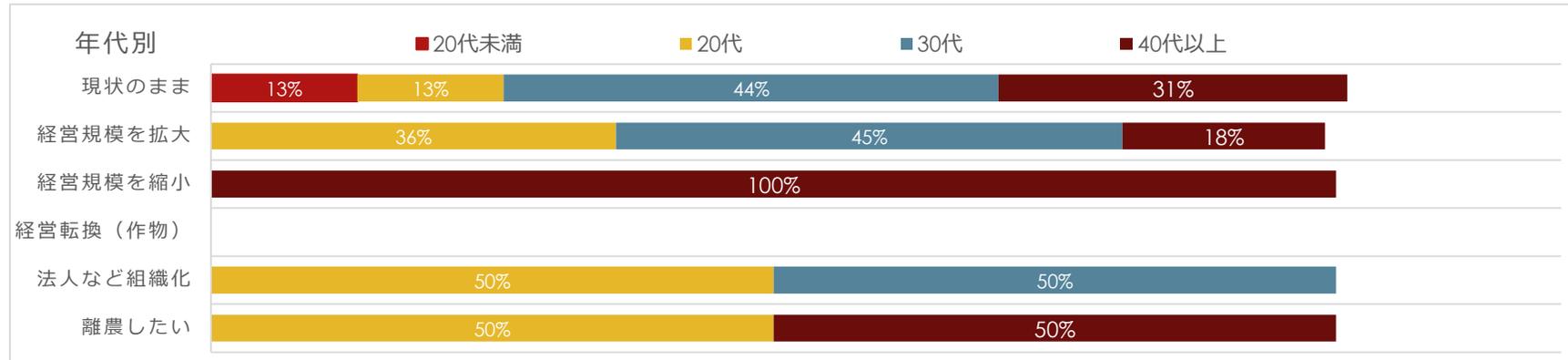
[後継者の回答]

(後継者)	全体		石狩		厚田		浜益	
現状のまま	16	47.1%	8	44.4%	7	63.6%	1	20.0%
経営規模を拡大	11	32.3%	5	27.8%	3	27.3%	3	60.0%
経営規模を縮小	1	2.9%	1	5.6%				
経営転換（作物）								
法人など組織化	4	11.8%	2	11.1%	1	9.1%	1	20.0%
離農したい	2	5.9%	2	11.1%				
計	34	100%	18	100%	11	100%	5	100%

※表 21



※図 27



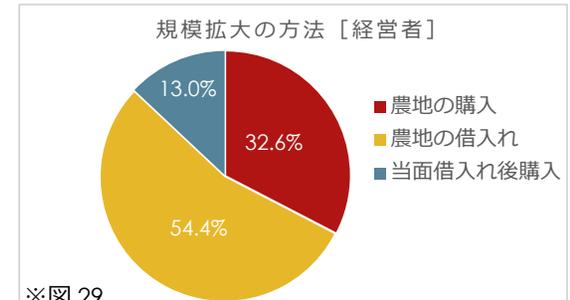
※図 28

●「経営規模拡大したい」。その方法は？

[経営者の回答]

(経営者)	全体		石狩		厚田		浜益	
農地の購入	15	32.6%	5	25.0%	2	15.4%	8	61.5%
農地の借入れ	25	54.4%	11	55.0%	10	76.9%	4	30.8%
当面借入れ後購入	6	13.0%	4	20.0%	1	7.7%	1	7.7%
計	46	100%	20	100%	13	100%	13	100%

※表 22

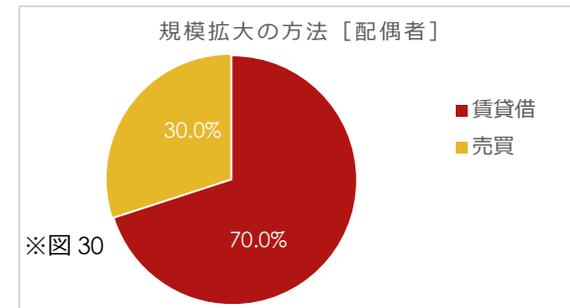


※図 29

[配偶者の回答]

(配偶者)	全体		石狩		厚田		浜益	
賃貸借	7	70.0%	3	75.0%	1	100%	3	60.0%
売買 (購入)	3	30.0%	1	25.0%			2	40.0%
計	10	100%	4	100%	1	100%	5	100%

※表 23

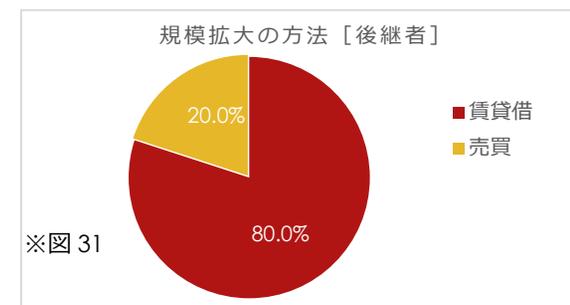


※図 30

[後継者の回答]

(後継者)	全体		石狩		厚田		浜益	
賃貸借	8	80.0%	4	100%	3	60.0%	1	100%
売買 (購入)	2	20.0%			2	40.0%		
計	10	100%	4	100%	5	100%		100%

※表 24



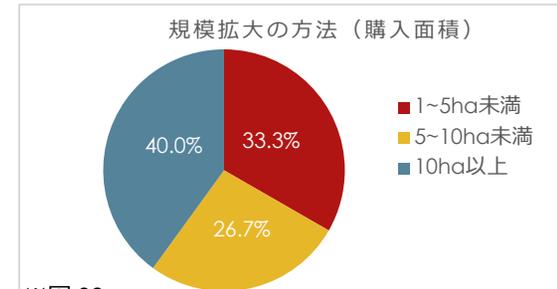
※図 31

●「経営規模を拡大（購入・借入れ・借入れ後購入）」。その面積は？

[経営者の回答]

農地の購入	全体		石狩		厚田		浜益	
1~5ha 未満	5	33.3%	1	25.0%	2	100%	2	25.0%
5~10ha 未満	4	26.7%	3	55.0%			1	12.5%
10ha 以上	6	40.0%	1	20.0%			5	62.5%
計	15	100%	5	100%	2	100%	8	100%

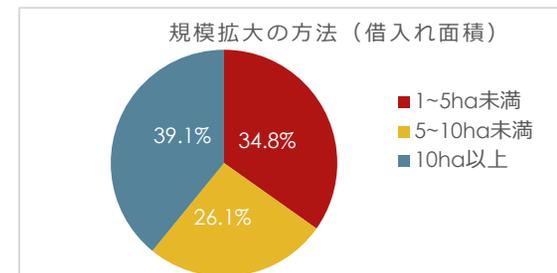
※表 25



※図 32

農地の借入れ	全体		石狩		厚田		浜益	
1~5ha 未満	8	34.8%	4	40.0%	4	44.5%		
5~10ha 未満	6	26.1%	3	30.0%	3	33.3%		
10ha 以上	9	39.1%	3	30.0%	2	22.2%	4	100%
計	23	100%	10	100%	9	100%	4	100%

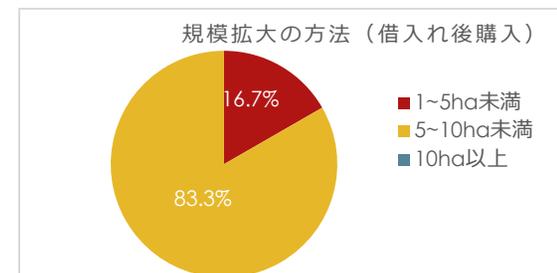
※表 26



※図 33

当面借入れ後購入	全体		石狩		厚田		浜益	
1~5ha 未満	1	16.7%	1	25.0%				
5~10ha 未満	5	83.3%	3	75.0%	1	100%	1	100%
10ha 以上								
計	6	100%	4	100%		100%		100%

※表 27



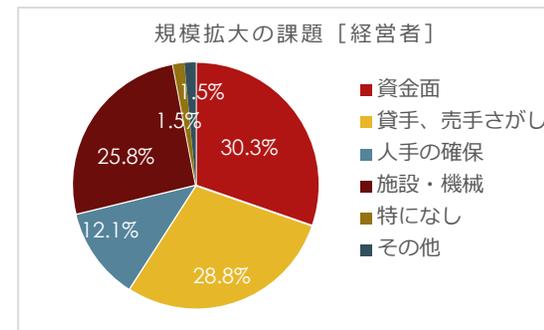
※図 34

●「経営規模を拡大したい」。規模拡大に当たっての課題は？

[経営者の回答]

(経営者)	全体		石狩		厚田		浜益	
資金面	20	30.3%	6	24.0%	9	40.9%	5	26.3%
貸手、売手さがし	19	28.8%	9	36.0%	3	13.6%	7	36.9%
人手の確保	8	12.1%	3	12.0%	3	13.6%	2	10.5%
施設・機械の更新・確保	17	25.8%	6	24.0%	6	27.3%	5	26.3%
特になし	1	1.5%			1	4.6%		
その他	1	1.5%	1	4.0%				
計	66	100%	25	100%	22	100%	19	100%

※表 28 ※その他 = GPS での作業ができる手助け (市と JA) があったの事

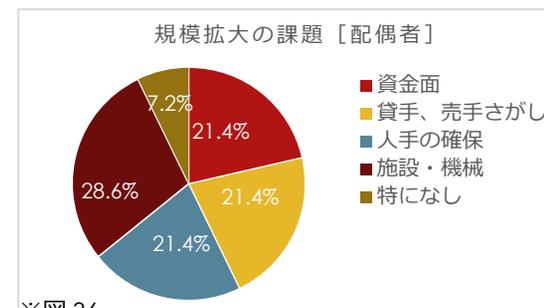


※図 35

[配偶者の回答]

(配偶者)	全体		石狩		厚田		浜益	
資金面	3	21.4%	2	18.2%	1	50.0%		
貸手、売手さがし	3	21.4%	3	27.3%				
人手の確保	3	21.4%	3	27.3%				
施設・機械の更新・確保	4	28.6%	2	18.2%	1	50.0%	1	100%
特になし	1	7.2%	1	9.0%				
計	14	100%	11	100%	2	100%	1	100%

※表 29

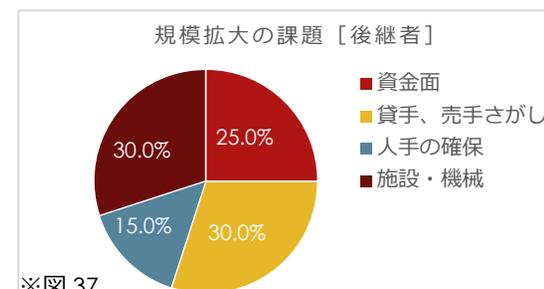


※図 36

[後継者の回答]

(後継者)	全体		石狩		厚田		浜益	
資金面	5	25.0%	3	30.0%	2	25.0%		
貸手、売手さがし	6	30.0%	2	20.0%	2	25.0%	2	100%
人手の確保	3	15.0%	2	20.0%	1	12.5%		
施設・機械の更新・確保	6	30.0%	3	30.0%	3	37.5%		
計	20	100%	10	100%	8	100%	2	100%

※表 30



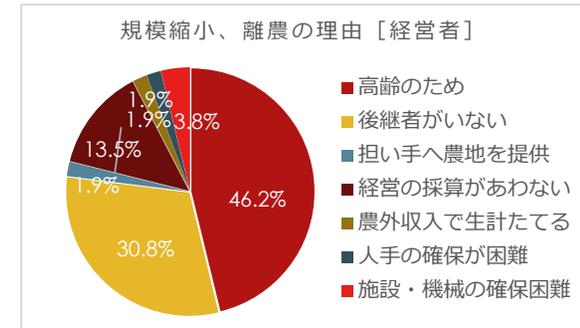
※図 37

●「経営規模を縮小したい」、「離農したい」。その理由は？

[経営者の回答]

(経営者)	全体		石狩		厚田		浜益	
高齢のため	24	46.2%	16	42.1%	5	50.0%	3	75.0%
後継者がいない	16	30.8%	12	31.6%	3	30.0%	1	25.0%
担い手へ農地を提供	1	1.9%	1	2.6%				
経営の採算があわない	7	13.5%	6	15.8%	1	10.0%		
農外収入で生計たてる	1	1.9%	1	2.6%				
人手の確保が困難	1	1.9%	1	2.6%				
施設・機械の確保困難	2	3.8%	1	2.6%	1	10.0%		
計	52	100%	38	100%	10	100%	4	100%

※表 31

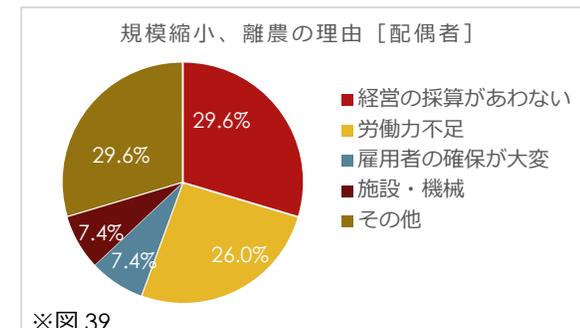


※図 38

[配偶者の回答]

(配偶者)	全体		石狩		厚田		浜益	
経営の採算があわない	8	29.6%	5	27.8%	1	25.0%	2	40.0%
労働力不足	7	26.0%	5	27.8%	1	25.0%	1	20.0%
雇用者の確保が大変	2	7.4%	1	5.5%		1	1	20.0%
施設・機械の確保困難	2	7.4%	1	5.5%			1	20.0%
その他	8	29.6%	6	33.4%	2	50.0%		
計	27	100%	18	100%	4	100%	5	100%

※表 32 ※その他 = 高齢のため、後継者がいない、病気

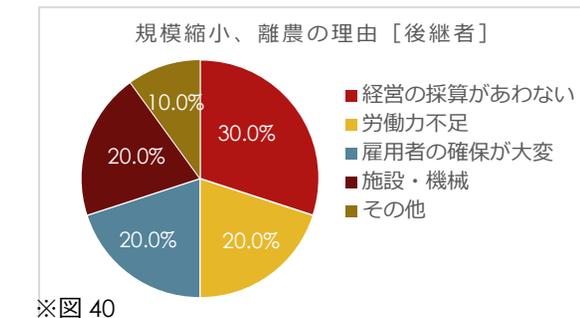


※図 39

[後継者の回答]

(後継者)	全体		石狩		厚田		浜益	
経営の採算があわない	3	30.0%	3	37.5%				
労働力不足	2	20.0%	1	12.5%	1	50.0%		
雇用者の確保が大変	2	20.0%	1	12.5%	1	50.0%		
施設・機械の確保困難	2	20.0%	2	25.0%				
その他	1	10.0%	1	12.5%				
計	10	100%	8	100%		100%		

※表 33 ※その他 = 農業の経験が殆どないため肥料、育て方がわからない



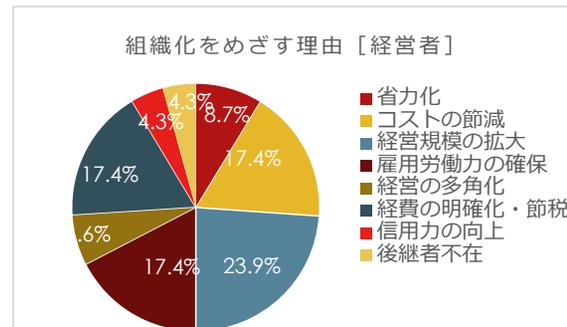
※図 40

●「法人など組織化をめざしたい」。その理由は？

[経営者の回答]

(経営者)	全体		石狩		厚田		浜益	
省力化	4	8.7%	3	11.5%			1	6.2%
コストの節減	8	17.4%	5	19.2%			3	18.8%
経営規模の拡大	11	23.9%	6	23.1%	1	25.0%	4	25.0%
雇用労働力の確保	8	17.4%	4	15.4%			4	25.0%
経営の多角化	3	6.6%	3	11.5%				
経費の明確化・節税	8	17.4%	2	7.7%	2	50.0%	4	25.0%
信用力の向上	2	4.3%	1	3.9%	1	25.0%		
後継者不在	2	4.3%	2	7.7%				
計	46	100%	26	100%	4	100%	16	100%

※表 34

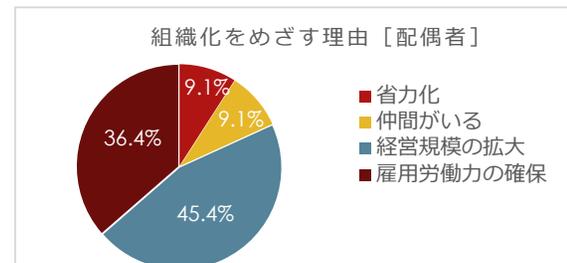


※図 41

[配偶者の回答]

(配偶者)	全体		石狩		厚田		浜益	
省力化	1	9.1%			1	25.0%		
一緒にやりたい仲間がいる	1	9.1%	1	33.3%				
経営規模の拡大	5	45.4%	2	66.7%	1	25.0%	2	50.0%
雇用労働力の確保	4	36.4%			2	50.0%	2	50.0%
計	11	100%	3	100%	4	100%	4	100%

※表 35

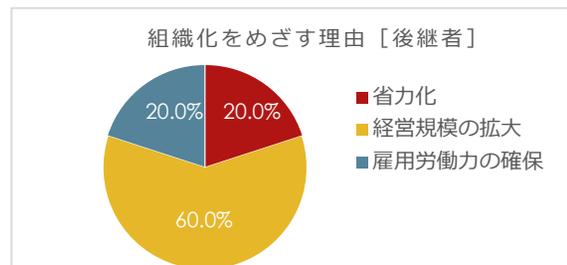


※図 42

[後継者の回答]

(配偶者)	全体		石狩		厚田		浜益	
省力化	1	20.0%	1	33.3%				
経営規模の拡大	3	60.0%	2	66.7%			1	100%
雇用労働力の確保	1	20.0%			1	100%		
計	5	100%	3	100%	1	100%	1	100%

※表 36



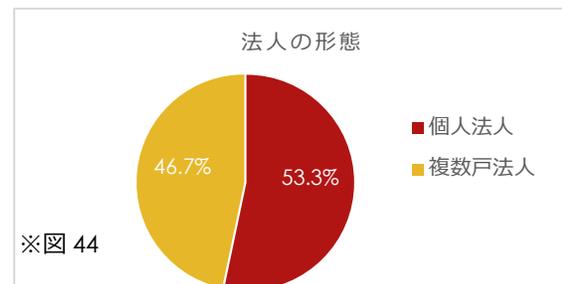
※図 43

●「法人など組織化をめざしたい」。その形態と課題は？

(形態)

	全体		石狩		厚田		浜益	
個人法人	8	53.3%	5	62.5%	2	66.7%	1	25.0%
複数戸法人	7	46.7%	3	37.5%	1	33.3%	3	75.0%
計	15	100%	26	100%	4	100%	16	100%

※表 37



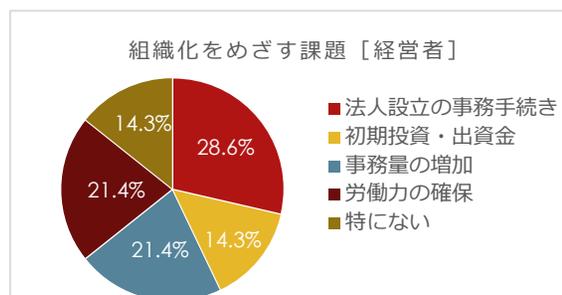
※図 44

(課題)

[経営者の回答]

(経営者)	全体		石狩		厚田		浜益	
法人設立の事務手続き	8	28.6%	1	8.3%	3	50.0%	4	40.0%
初期投資・出資金	4	14.3%	4	33.3%				
事務量の増加	6	21.4%	2	16.7%	1	16.7%	3	30.0%
労働力の確保	6	21.4%	2	16.7%	1	16.7%	3	30.0%
特にない	4	14.3%	3	25.0%	1	16.7%		
計	28	100%	12	100%	6	100%	10	100%

※表 38

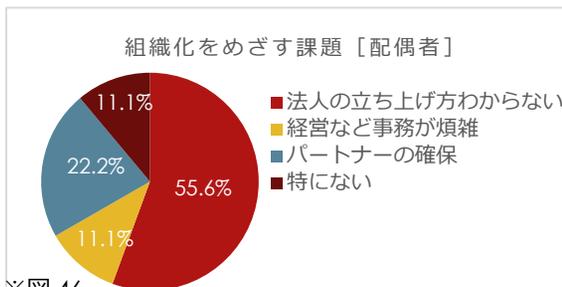


※図 45

[配偶者の回答]

(配偶者)	全体		石狩		厚田		浜益	
法人の立ち上げ方わからない	5	55.6%	2	66.7%	1	25.0%	2	100%
経営など事務が煩雑	1	11.1%			1	25.0%		
パートナーの確保	2	22.2%			2	50.0%		
特にない	1	11.1%	1	33.3%				
計	9	100%	3	100%	4	100%	2	100%

※表 39

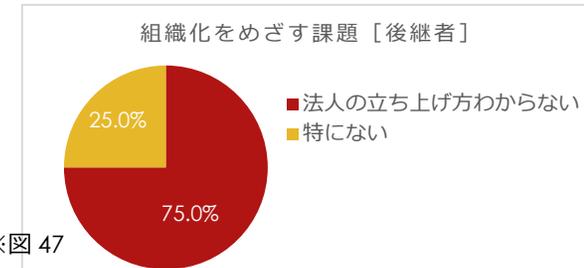


※図 46

[後継者の回答]

(後継者)	全体		石狩		厚田		浜益	
法人の立ち上げ方わからない	3	75.0%	1	50.0%	1	100%	1	100%
特にない	1	25.0%	1	50.0%				
計	4	100%	2	100%	1	100%	1	100%

※表 40



※図 47

●「経営転換（作物）をしたい」。どんな作物をお考えか？

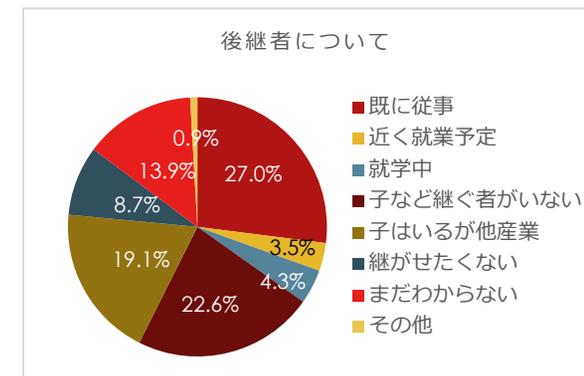
[配偶者の回答]

- ・キヌサヤ、ブロッコリー
- ・ブルーベリー

●後継者について

	全体		石狩		厚田		浜益	
既に従事	31	27.0%	16	27.1%	9	28.1%	6	25.0%
近く就業予定	4	3.5%	3	5.1%	1	3.1%		
就学中	5	4.3%	2	3.4%			3	12.5%
子など継ぐ者がいない	26	22.6%	13	22.0%	7	21.9%	6	25.0%
子はあるが他産業	22	19.1%	14	23.7%	6	18.8%	2	8.3%
継がせたくない・継がせられない	10	8.7%	8	13.6%	2	6.2%		
まだわからない	16	13.9%	3	5.1%	6	18.8%	7	29.2%
その他	1	0.9%			1	3.1%		
計	115	100%	59	100%	32	100%	24	100%

※表 41

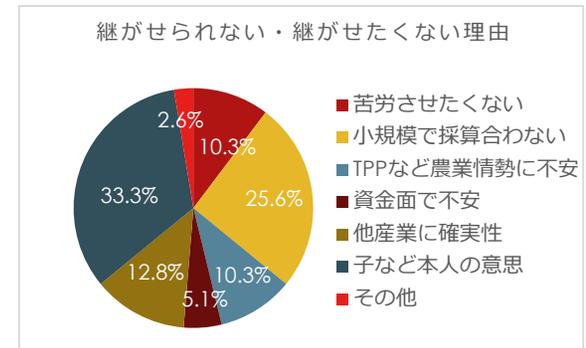


※図 48

● 「後継者がいない（子などいるが継がせられない・継がせたくない）」。その理由は？

	全体		石狩		厚田		浜益	
きつく苦勞させたくない	4	10.3%	2	8.3%	2	18.2%		
小規模で採算合わない	10	25.6%	8	33.4%	1	9.1%	1	25.0%
TPPなど農業情勢に不安	4	10.3%	2	8.3%	1	9.1%	1	25.0%
資金面で不安	2	5.1%	1	4.2%	1	9.1%		
他産業に確実性（魅力）ある	5	12.8%	2	8.3%	3	27.2%		
子など本人の意思	13	33.3%	9	37.5%	2	18.2%	2	50.0%
その他	1	2.6%			1	9.1%		
計	39	100%	24	100%	11	100%	4	100%

※表 42

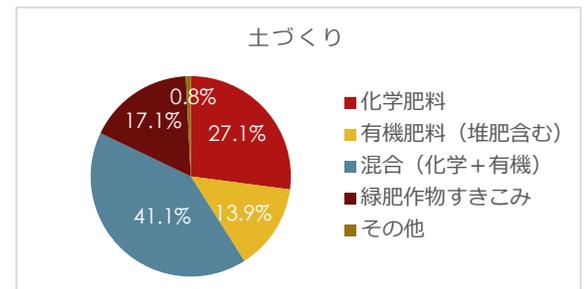


※図 49

● どのような土づくりをしていますか？

	全体		石狩		厚田		浜益	
化学肥料	35	27.1%	15	22.0%	11	29.7%	9	37.5%
有機肥料（堆肥含む）	18	13.9%	11	16.2%	3	8.1%	4	16.7%
混合（化学肥料+有機肥料）	53	41.1%	27	39.7%	16	43.3%	10	41.7%
緑肥作物などすきこみ	22	17.1%	14	20.6%	7	18.9%	1	4.1%
その他	1	0.8%	1	1.5%				
計	129	100%	68	100%	37	100%	24	100%

※表 43 ※その他 = 輪作、田畑輪換

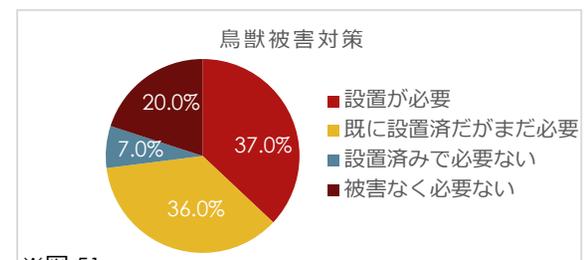


※図 50

● 野生鳥獣（シカ・アライグマなど）による農作物被害対策として電気策柵など設置したいか？

	全体		石狩		厚田		浜益	
設置が必要	37	37.0%	25	52.1%	4	14.3%	8	33.3%
既に設置済だがまだ必要	36	36.0%	5	10.4%	17	60.7%	14	58.3%
設置済みで必要ない	7	7.0%	3	6.2%	3	10.7%	1	4.2%
被害なく必要ない	20	20.0%	15	31.3%	4	14.3%	1	4.2%
計	100	100%	48	100%	28	100%	24	100%

※表 44 ※その他 = 被害あるが対策がない、もっと有効な対策をして欲しい、不要

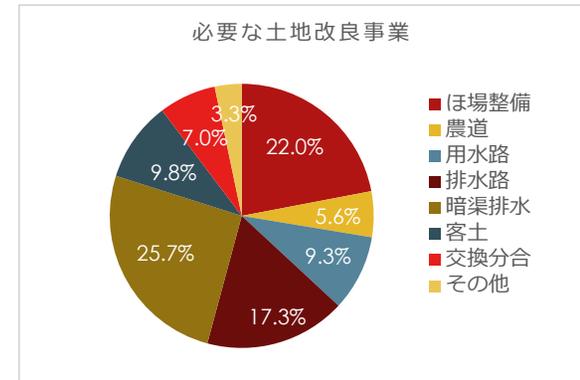


※図 51

● 今後、必要となる土地改良事業（施設）は？

	全体		石狩		厚田		浜益	
ほ場整備（区画整理・大型化）	47	22.0%	17	17.5%	15	21.4%	15	31.9%
農道	12	5.6%	4	4.1%	6	8.6%	2	4.3%
用水路	20	9.3%	4	4.1%	8	11.4%	8	17.0%
排水路	37	17.3%	18	18.6%	11	15.7%	8	17.0%
暗渠排水	55	25.7%	25	25.8%	20	28.6%	10	21.3%
客土	21	9.8%	17	17.5%	3	4.3%	1	2.1%
交換分合	15	7.0%	7	7.2%	5	7.1%	3	6.4%
その他	7	3.3%	5	5.2%	2	2.9%		
計	214	100%	97	100%	70	100%	47	100%

※表 45 ※その他 = 市の河川管理、立ったままで作業できる畑だけお金がない

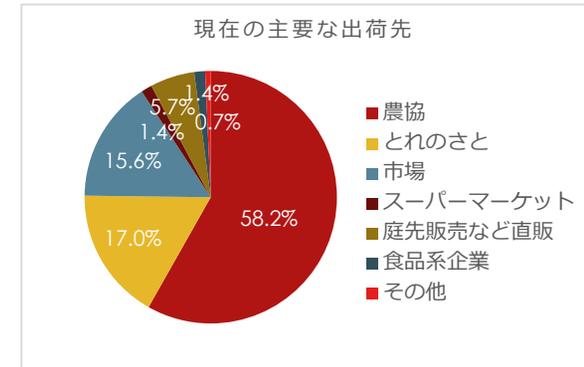


※図 52

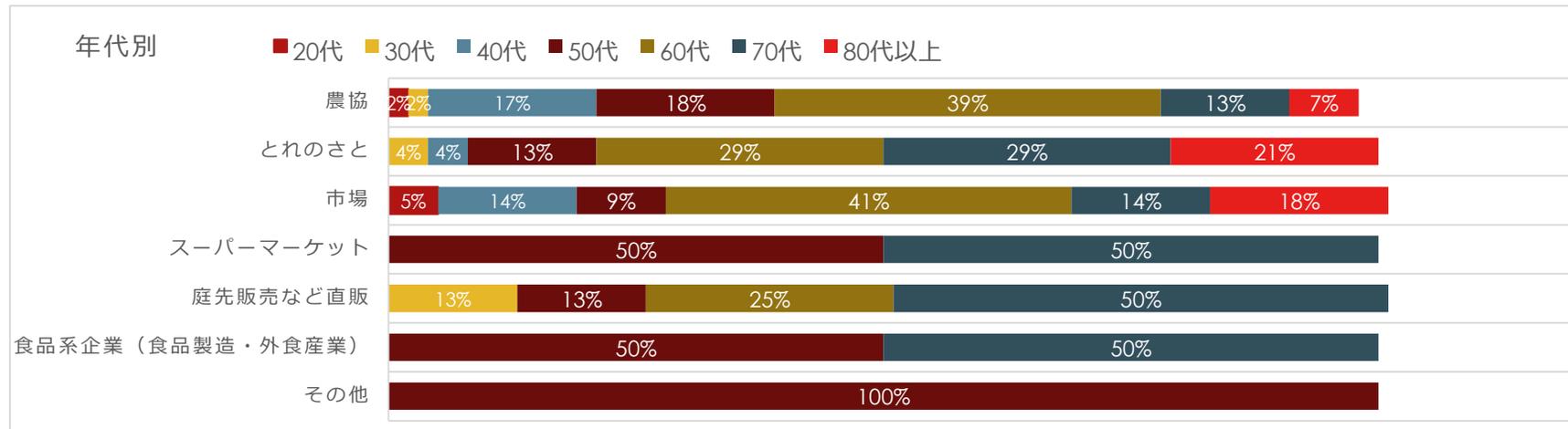
●現在の主な農産物（販売額が最も大きいもの）の主要な出荷先はどこか？

	全体		石狩		厚田		浜益	
農協	82	58.2%	33	42.3%	30	81.1%	19	73.1%
とれのさと	24	17.0%	24	30.8%				
市場	22	15.6%	15	19.2%	4	10.8%	3	11.5%
スーパーマーケット	2	1.4%	2	2.6%				
庭先販売など直販	8	5.7%	4	5.1%	2	5.4%	2	7.7%
食品系企業（食品製造・外食産業）	2	1.4%					2	7.7%
その他	1	0.7%			1	2.7%		
計	141	100%	78	100%	37	100%	26	100%

※表 46



※図 53



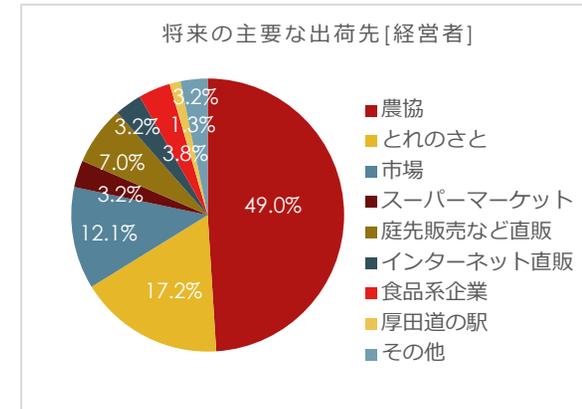
※図 54

●将来（概ね5年後）の主要な出荷先はどこが有効と考えるか？

[経営者の回答]

(経営者)	全体		石狩		厚田		浜益	
農協	77	49.0%	34	39.6%	27	58.7%	16	64.0%
とれのさと	27	17.2%	26	30.2%	1	2.2%		
市場	19	12.1%	13	15.1%	5	10.9%	1	4.0%
スーパーマーケット	5	3.2%	3	3.5%	2	4.3%		
庭先販売など直販	11	7.0%	3	3.5%	5	10.9%	3	12.0%
インターネットによる直販	5	3.2%	2	2.3%	2	4.3%	1	4.0%
食品系企業（食品製造・外食業）	6	3.8%	2	2.3%			4	16.0%
厚田道の駅	2	1.3%			2	4.3%		
その他	5	3.2%	3	3.5%	2	4.3%		
計	157	100%	86	100%	46	100%	25	100%

※表 47 ※その他＝商者や業者、品質重視の販売先、ホテル、海外

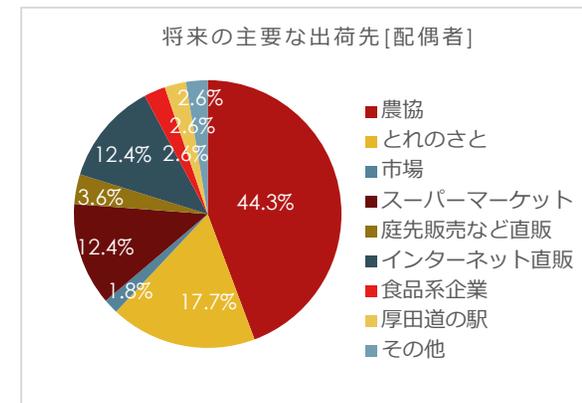


※図 55

[配偶者の回答]

(配偶者)	全体		石狩		厚田		浜益	
農協	50	44.3%	23	35.4%	17	56.7%	10	55.6%
とれのさと	20	17.7%	18	27.7%			2	11.2%
市場	2	1.8%			1	3.3%	1	5.5%
スーパーマーケット	14	12.4%	7	10.8%	6	20.0%	1	5.5%
庭先販売など直販	4	3.6%	3	4.6%	1	3.3%		
インターネットによる直販	14	12.4%	8	12.3%	4	13.4%	2	11.2%
食品系企業（食品製造・外食業）	3	2.6%	2	3.1%			1	5.5%
厚田道の駅	3	2.6%	1	1.5%	1	3.3%	1	5.5%
その他	3	2.6%	3	4.6%				
計	113	100%	65	100%	30	100%	18	100%

※表 48 ※その他＝コンビニ、ホテル

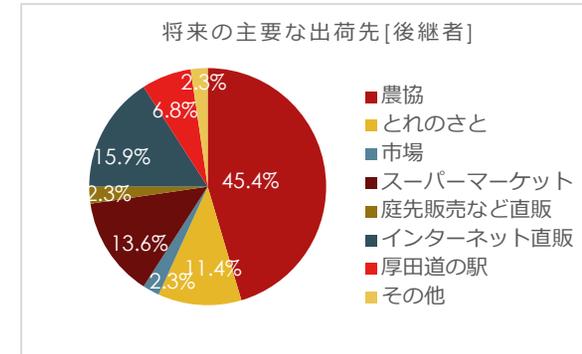


※図 56

[後継者の回答]

(後継者)	全体		石狩		厚田		浜益	
農協	20	45.4%	12	41.4%	6	50.0%	2	66.7%
とれのさと	5	11.4%	5	17.3%				
市場	1	2.3%	1	3.4%				
スーパーマーケット	6	13.6%	5	17.3%	1	8.3%		
庭先販売など直販	1	2.3%	1	3.4%				
インターネットによる直販	7	15.9%	3	10.4%	3	25.0%	1	33.3%
厚田道の駅	3	6.8%	1	3.4%	2	16.7%		
その他	1	2.3%	1	3.4%				
計	44	100%	29	100%	12	100%	3	100%

※表 49 ※その他 = ホテル



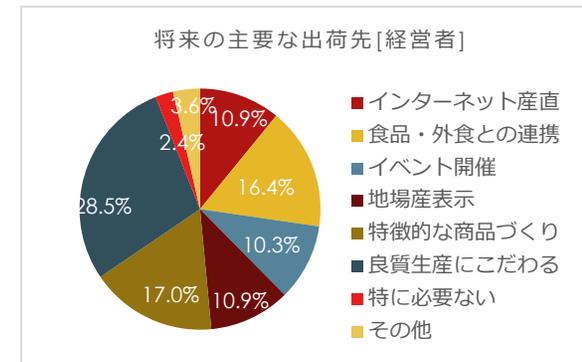
※図 57

●石狩産農産物をブランド化するためにはどんな取り組みが必要と考えるか？

[経営者の回答]

(経営者)	全体		石狩		厚田		浜益	
インターネットなどによる産直	18	10.9%	12	12.4%	2	6.2%	4	11.1%
食品製造や外食産業との連携	27	16.4%	15	15.5%	6	18.8%	6	16.6%
マスクが取り上げるイベント開催	17	10.3%	9	9.3%	3	9.4%	5	13.9%
他と区別する地場産表示	18	10.9%	13	13.4%	4	12.5%	1	2.8%
特徴的な商品づくり	28	17.0%	17	17.5%	2	6.2%	9	25.0%
安定供給・良質生産にこだわる	47	28.5%	27	27.8%	11	34.4%	9	25.0%
特に必要ない	4	2.4%	1	1.0%	2	6.2%	1	2.8%
その他	6	3.6%	3	3.1%	2	6.2%	1	2.8%
計	165	100%	97	100%	32	100%	36	100%

※表 50 ※その他 = 石狩産ネーミングの貼り付け、小地区のブランド化

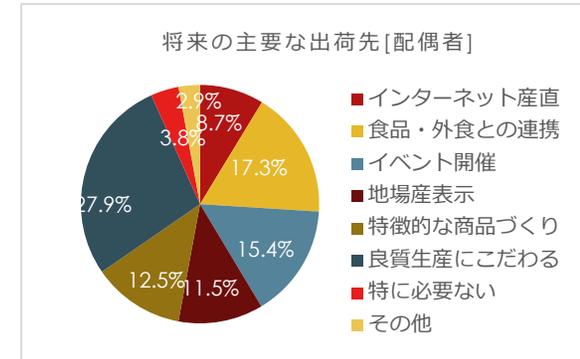


※図 58

[配偶者の回答]

(配偶者)	全体		石狩		厚田		浜益	
インターネットなどによる産直	9	8.7%	7	12.5%	1	3.5%	1	5.3%
食品製造や外食産業との連携	18	17.3%	11	19.6%	6	20.7%	1	5.3%
マスクが取り上げるイベント開催	16	15.4%	8	14.3%	2	6.9%	6	31.5%
他と区別する地場産表示	12	11.5%	5	8.9%	5	17.2%	2	10.5%
特徴的な商品づくり	13	12.5%	7	12.5%	5	17.2%	1	5.3%
安定供給・良質生産にこだわる	29	27.9%	15	26.8%	9	31.0%	5	26.3%
特に必要ない	4	3.8%	1	1.8%	1	3.5%	2	10.5%
その他	3	2.9%	2	3.6%			1	5.3%
計	104	100%	56	100%	29	100%	19	100%

※表 51 ※その他 = 他地域の米と別販売、週 1 回の農家の朝市直売通り開催 (観光化)、ふるさと納税

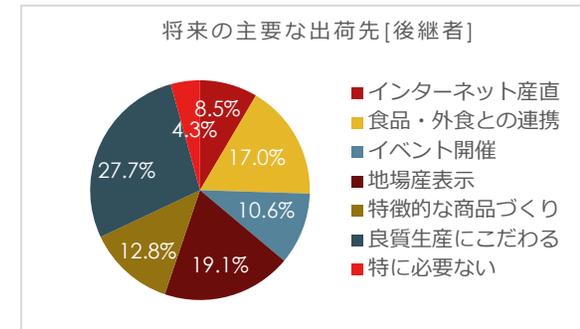


※図 59

[後継者の回答]

(後継者)	全体		石狩		厚田		浜益	
インターネットなどによる産直	4	8.5%	4	14.3%				
食品製造や外食産業との連携	8	17.0%	4	14.3%	4	26.6%		
マスクが取り上げるイベント開催	5	10.6%	3	10.7%			2	50.0%
他と区別する地場産表示	9	19.1%	7	25.0%	2	13.3%		
特徴的な商品づくり	6	12.8%	4	14.3%	1	6.7%	1	25.0%
安定供給・良質生産にこだわる	13	27.7%	5	17.8%	7	46.7%	1	25.0%
特に必要ない	2	4.3%	1	3.6%	1	6.7%		
計	47	100%	28	100%	15	100%	4	100%

※表 52

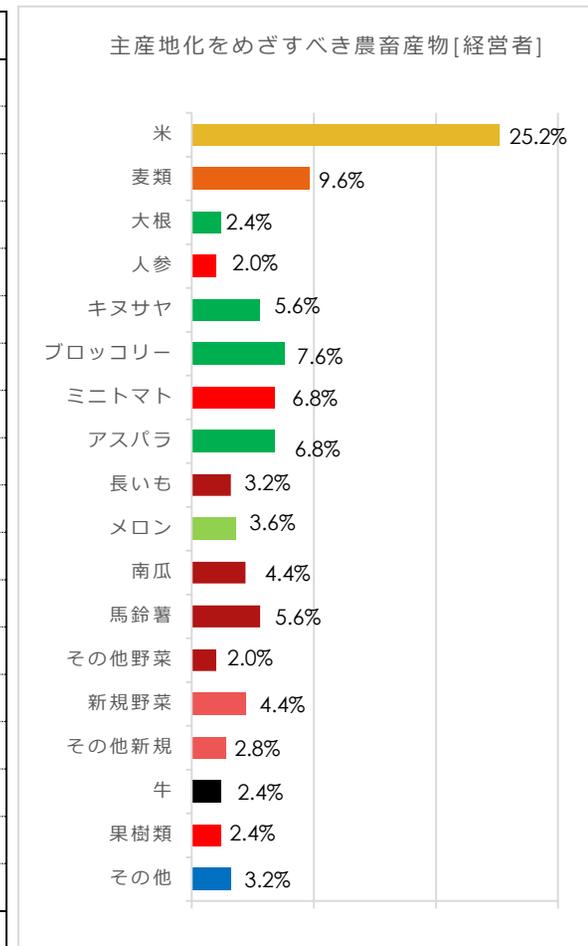


※図 60

●今後、主産地化をめざすべきと考える農畜産物は？

[経営者の回答]

(経営者)	全体		石狩		厚田		浜益	
米	63	25.2%	17	12.6%	27	42.2%	19	37.2%
麦類	24	9.6%	11	8.2%	11	17.2%	2	3.9%
大根	6	2.4%	5	3.7%			1	2.0%
人参	5	2.0%	5	3.7%				
キヌサヤ	14	5.6%	13	9.6%			1	2.0%
ブロッコリー	19	7.6%	18	13.3%	1	1.6%		
ミニトマト	17	6.8%	11	8.2%	4	6.2%	2	3.9%
アスパラ	17	6.8%	11	8.2%	2	3.1%	4	7.8%
長いも	8	3.2%	7	5.2%	1	1.6%		
メロン	9	3.6%	2	1.5%	6	9.3%	1	2.0%
南瓜	11	4.4%	3	2.2%	5	7.8%	3	5.9%
馬鈴薯	14	5.6%	8	5.9%	3	4.7%	3	5.9%
その他野菜	5	2.0%	5	3.7%				
新規野菜(わいも・落花生)	11	4.4%	8	5.9%	1	1.6%	2	3.9%
その他新規野菜	7	2.8%	6	4.4%	1	1.6%		
牛(黒毛和牛・乳牛)	6	2.4%					6	11.8%
果樹類(桜桃・林檎)	6	2.4%	2	1.5%			4	7.8%
その他	8	3.2%	3	2.2%	2	3.1%	3	5.9%
計	250	100%	135	100%	64	100%	51	100%



※表 53 ※その他の野菜=ごぼう、生姜、わさび菜、葉物

※その他の新規野菜=日光菜、かぶ、パプリカ

※図 61

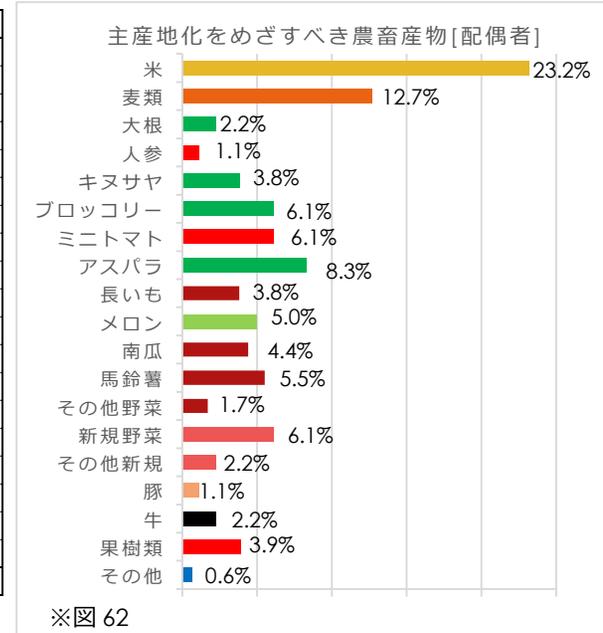
※その他=そば、大豆、ブルーベリー、花卉

[配偶者の回答]

(配偶者)	全体		石狩		厚田		浜益	
米	42	23.2%	12	12.1%	22	43.1%	8	25.8%
麦類	23	12.7%	12	12.1%	10	19.6%	1	3.2%
大根	4	2.2%	4	4.1%				
人参	2	1.1%	2	2.0%				
キヌサヤ	7	3.8%	4	4.1%	1	2.0%	2	6.5%
ブロッコリー	11	6.1%	11	11.1%				
ミニトマト	11	6.1%	8	8.1%	1	2.0%	2	6.5%
アスパラ	15	8.3%	9	9.1%	2	3.9%	4	12.9%
長いも	7	3.8%	5	5.1%	1	2.0%	1	3.2%
メロン	9	5.0%	3	3.0%	6	11.7%		
南瓜	8	4.4%	2	2.0%	4	7.8%	2	6.5%
馬鈴薯	10	5.5%	7	7.1%	2	3.9%	1	3.2%
その他野菜	3	1.7%	3	3.0%				
新規野菜(さつまいも・落花生)	11	6.1%	6	6.1%	1	2.0%	4	12.9%
その他新規野菜	4	2.2%	3	3.0%	1	2.0%		
豚	2	1.1%	2	2.0%				
牛(黒毛和牛・乳牛)	4	2.2%	2	2.0%			2	6.5%
果樹類(桜桃・林檎)	7	3.9%	4	4.1%			3	9.6%
その他	1	0.6%					1	3.2%
計	181	100%	99	100%	51	100%	31	100%

※表 54 ※その他の野菜=生姜、にんにく

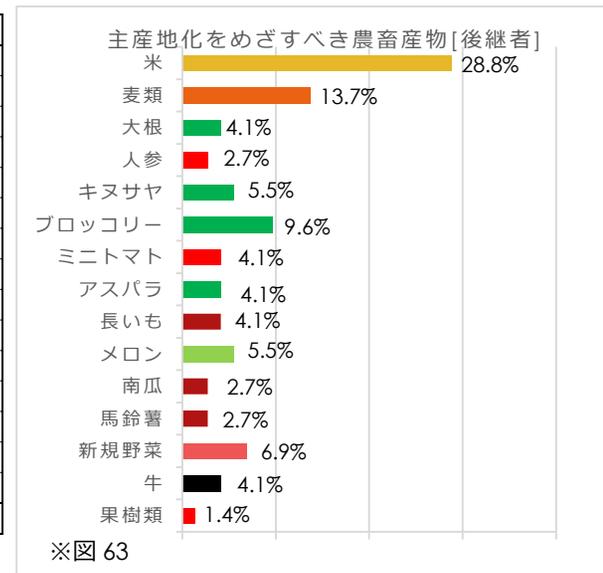
※その他の新規野菜=パプリカ、洋菜



[後継者の回答] 問 50

(後継者)	全体		石狩		厚田		浜益	
米	21	28.8%	8	20.0%	11	42.3%	2	28.6%
麦類	10	13.7%	5	12.5%	4	15.4%	1	14.3%
大根	3	4.1%	3	7.5%				
人参	2	2.7%	2	5.0%				
キヌサヤ	4	5.5%	4	10.0%				
ブロッコリー	7	9.6%	7	17.5%				
ミニトマト	3	4.1%	2	5.0%	1	3.8%		
アスパラ	3	4.1%	3	7.5%				
長いも	3	4.1%	2	5.0%	1	3.8%		
メロン	4	5.5%	1	2.5%	3	11.6%		
南瓜	2	2.7%	1	2.5%	1	3.8%		
馬鈴薯	2	2.7%	1	2.5%	1	3.8%		
新規野菜(さつまいも・落花生)	5	6.9%	1	2.5%	3	11.6%	1	14.3%
牛(黒毛和牛・乳牛)	3	4.1%			1	3.8%	2	28.6%
果樹類(桜桃・林檎)	1	1.4%					1	14.3%
計	73	100%	40	100%	26	100%	7	100%

※表 55

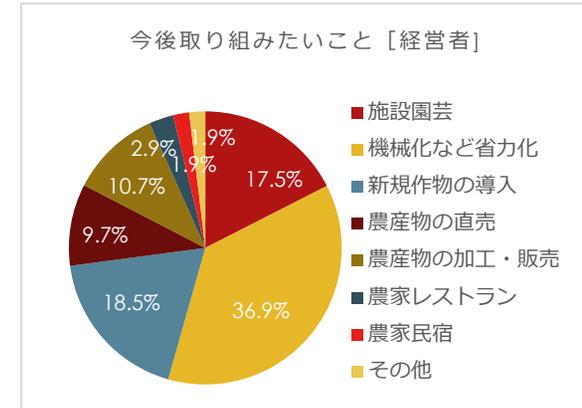


● 今後、取り組みたいことは？

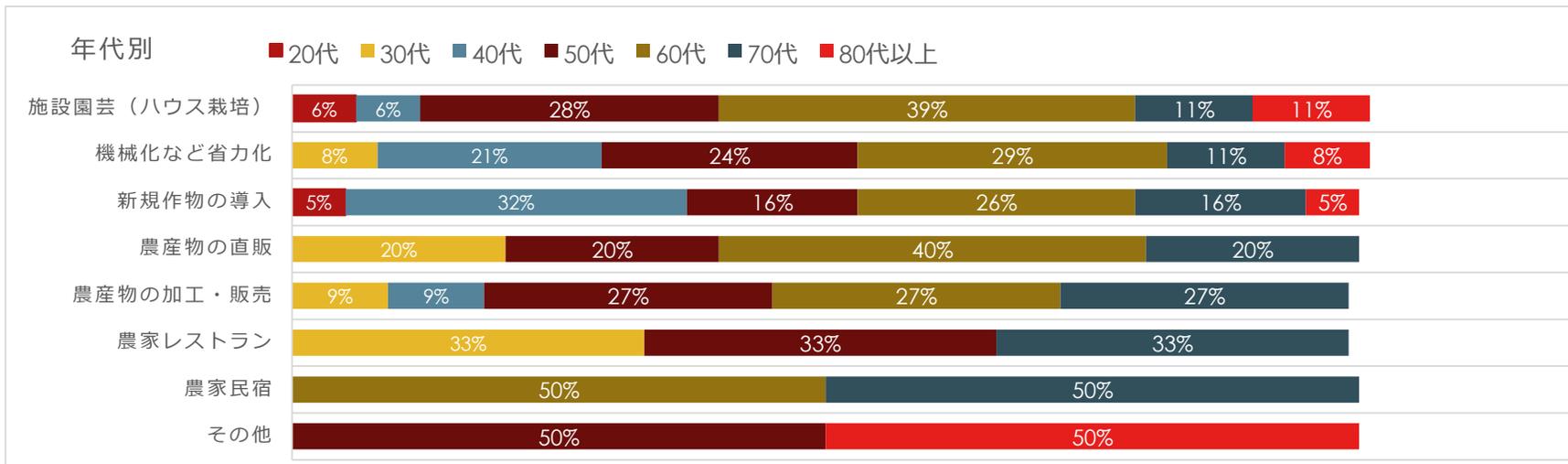
[経営者の回答]

(経営者)	全体		石狩		厚田		浜益	
施設園芸 (ハウス栽培)	18	17.5%	9	15.8%	6	24.0%	3	14.2%
機械化など省力化	38	36.9%	23	40.4%	10	40.0%	5	23.8%
新規作物の導入	19	18.5%	7	12.3%	4	16.0%	8	38.1%
農産物の直売	10	9.7%	7	12.3%	2	8.0%	1	4.8%
農産物の加工・販売	11	10.7%	6	10.5%	3	12.0%	2	9.5%
農家レストラン	3	2.9%	3	5.3%				
農家民宿	2	1.9%	1	1.7%			1	4.8%
その他	2	1.9%	1	1.7%			1	4.8%
計	103	100%	57	100%	25	100%	21	100%

※表 56



※図 64

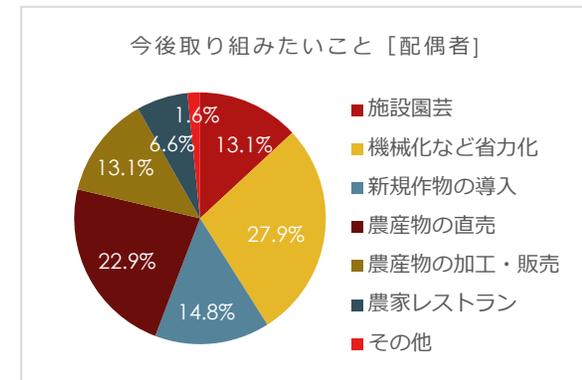


※図 65

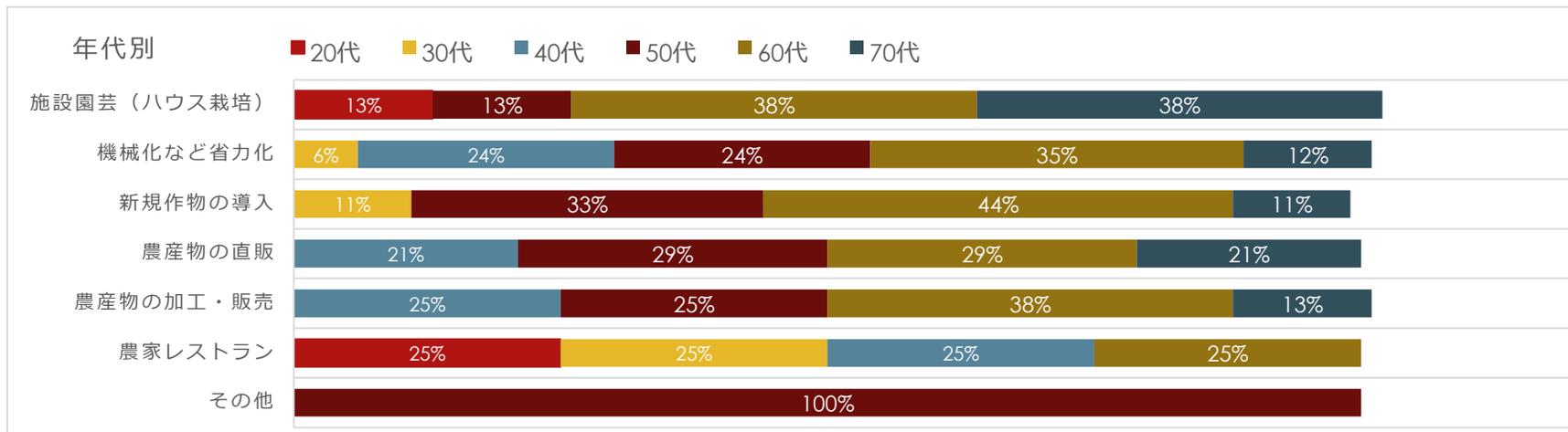
[配偶者の回答]

(配偶者)	全体		石狩		厚田		浜益	
施設園芸 (ハウス栽培)	8	13.1%	5	15.2%			3	20.0%
機械化など省力化	17	27.9%	7	21.2%	6	46.1%	4	26.7%
新規作物の導入	9	14.8%	5	15.2%			4	26.7%
農産物の直売	14	22.9%	8	24.2%	5	38.5%	1	6.6%
農産物の加工・販売	8	13.1%	5	15.2%	2	15.4%	1	6.6%
農家レストラン	4	6.6%	2	6.0%			2	13.3%
その他	1	1.6%	1	3.0%				
計	61	100%	33	100%	13	100%	15	100%

※表 57



※図 66

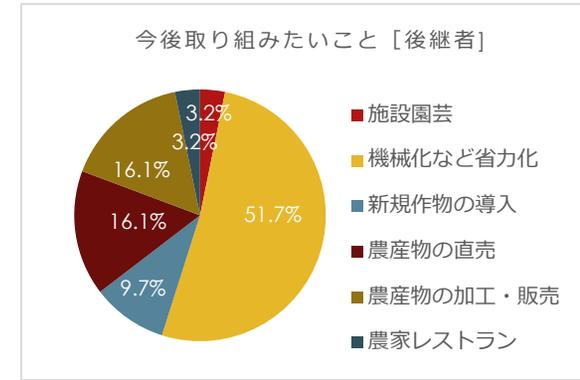


※図 67

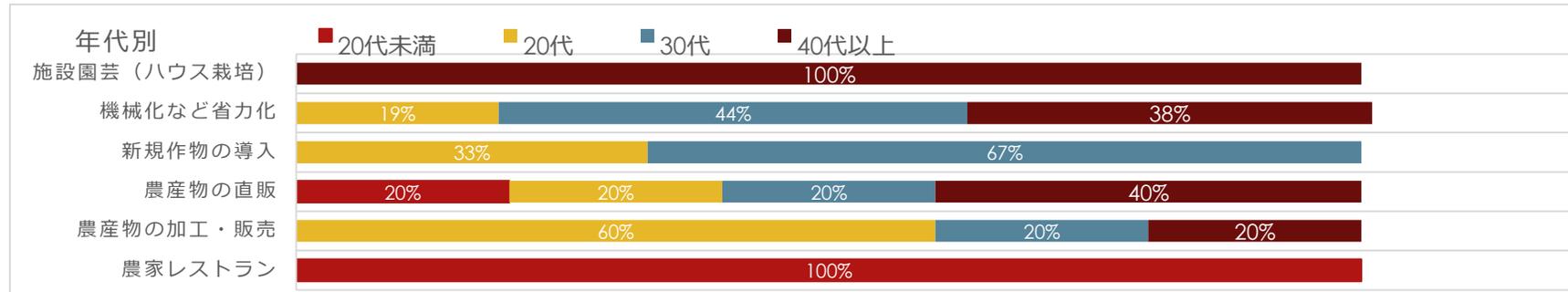
[後継者の回答]

(後継者)	全体		石狩		厚田		浜益	
施設園芸 (ハウス栽培)	1	3.2%	1	5.0%				
機械化など省力化	16	51.7%	9	45.0%	6	75.0%	1	33.3%
新規作物の導入	3	9.7%	3	15.0%				
農産物の直売	5	16.1%	3	15.0%	1	12.5%	1	33.3%
農産物の加工・販売	5	16.1%	3	15.0%	1	12.5%	1	33.3%
農家レストラン	1	3.2%	1	5.0%				
計	31	100%	20	100%	8	100%	3	100%

※表 58



※図 68

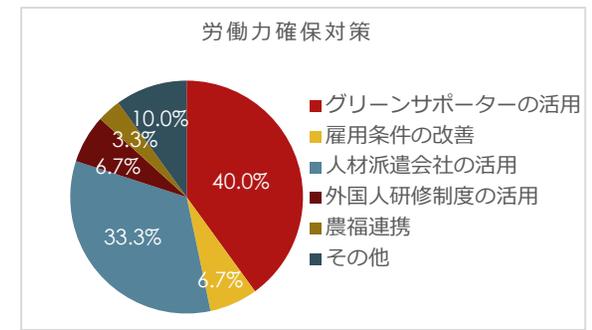


※図 69

●「雇用労働力が不足している」。労働力確保対策として何が必要か？

	全体		石狩		厚田		浜益	
グリーンサポーターの活用	12	40.0%	7	63.6%	4	40.0%	1	11.1%
雇用条件の改善	2	6.7%					2	22.2%
人材派遣会社の活用	10	33.3%	1	9.1%	4	40.0%	5	55.6%
外国人研修制度の活用	2	6.7%			1	10.0%	1	11.1%
農福連携	1	3.3%	1	9.1%				
その他	3	10.0%	2	18.2%	1	10.0%		
計	30	100%	11	100%	10	100%	9	100%

※表 59

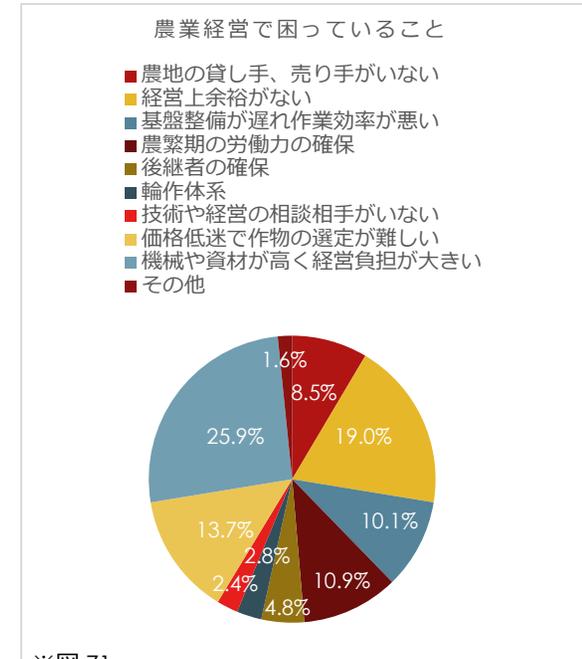


※図 70

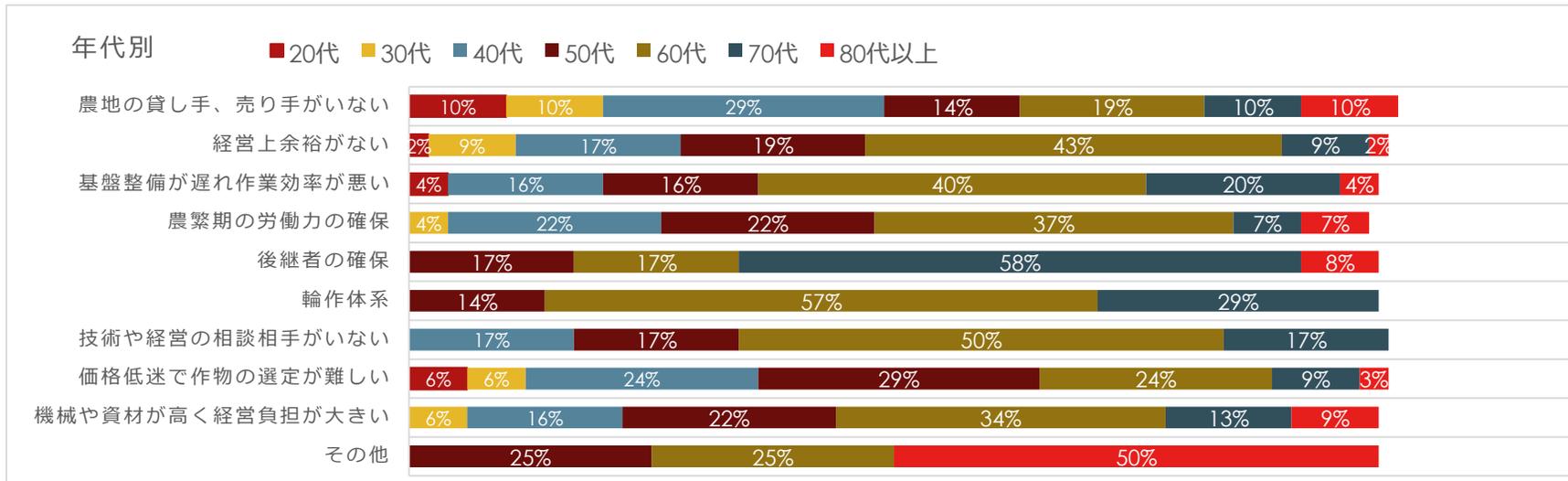
●現在の農業経営の中で困っていることは何か？

	全体		石狩		厚田		浜益	
農地の貸し手、売り手がない	21	8.5%	8	6.8%	6	8.3%	7	12.1%
経営上余裕がない	47	19.0%	22	18.8%	16	22.2%	9	15.5%
基盤整備が遅れ作業効率が悪い	25	10.1%	7	6.0%	8	11.1%	10	17.3%
農繁期の労働力の確保	27	10.9%	10	8.6%	12	16.7%	5	8.6%
後継者の確保	12	4.8%	5	4.3%	3	4.2%	4	6.9%
輪作体系	7	2.8%	6	5.1%	1	1.4%		
技術や経営の相談相手がない	6	2.4%	3	2.6%	1	1.4%	2	3.4%
価格低迷で作物の選定が難しい	34	13.7%	19	16.2%	6	8.3%	9	15.5%
機械や資材が高く経営負担が大きい	64	25.9%	33	28.2%	19	26.4%	12	20.7%
その他	4	1.6%	4	3.4%				
計	247	100%	117	100%	72	100%	58	100%

※表 60



※図 71



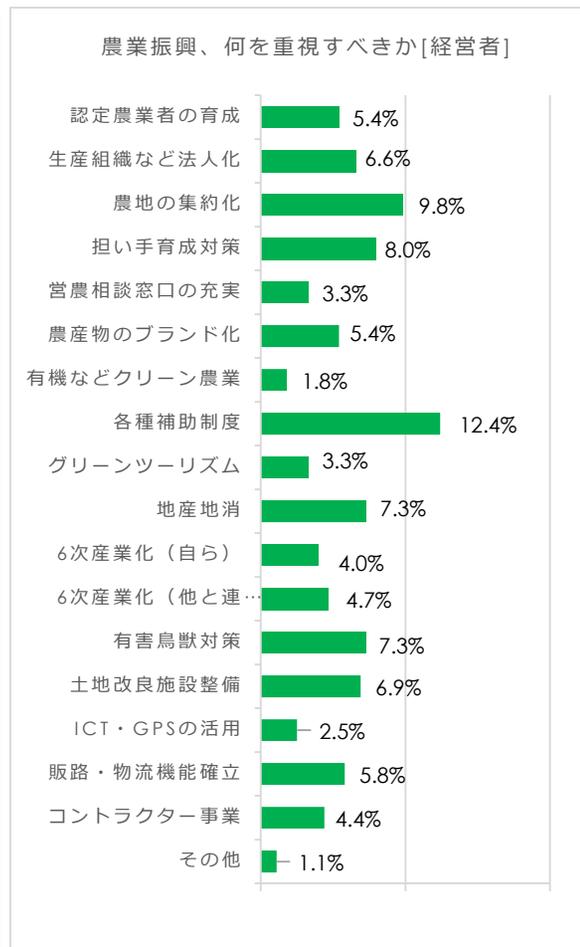
※図 72

● 農業振興を図るには、何を重視すべきと考えるか？

[経営者の回答]

(経営者)	全体		石狩		厚田		浜益	
認定農業者の育成	15	5.4%	9	6.3%	2	2.9%	4	6.3%
生産組織など法人化	18	6.6%	13	9.0%	2	2.9%	3	4.8%
農地の集約化	27	9.8%	13	9.0%	8	11.8%	6	9.5%
担い手育成対策 (新規参入)	22	8.0%	13	9.0%	3	4.4%	6	9.5%
営農相談窓口の充実	9	3.3%	4	2.8%	2	2.9%	3	4.8%
農産物のブランド化	15	5.4%	10	6.9%	2	2.9%	3	4.8%
有機などグリーン農業	5	1.8%	4	2.8%	1	1.5%		
各種補助制度	34	12.4%	13	9.0%	13	19.1%	8	12.7%
グリーンツーリズム	9	3.3%	5	3.5%	2	2.9%	2	3.2%
地産地消	20	7.3%	15	10.4%	1	1.5%	4	6.3%
6次産業化 (自ら)	11	4.0%	6	4.2%	2	2.9%	3	4.8%
6次産業化 (他と連携)	13	4.7%	8	5.5%	3	4.4%	2	3.2%
有害鳥獣対策	20	7.3%	6	4.2%	7	10.3%	7	11.1%
土地改良施設整備	19	6.9%	7	4.9%	5	7.4%	7	11.1%
ICT・GPSの活用	7	2.5%	2	1.4%	5	7.4%		
販路・物流機能確立	16	5.8%	6	4.2%	5	7.4%	5	7.9%
コントラクター事業	12	4.4%	8	5.5%	4	5.9%		
その他	3	1.1%	2	1.4%	1	1.5%		
計	275	100%	144	100%	68	100%	63	100%

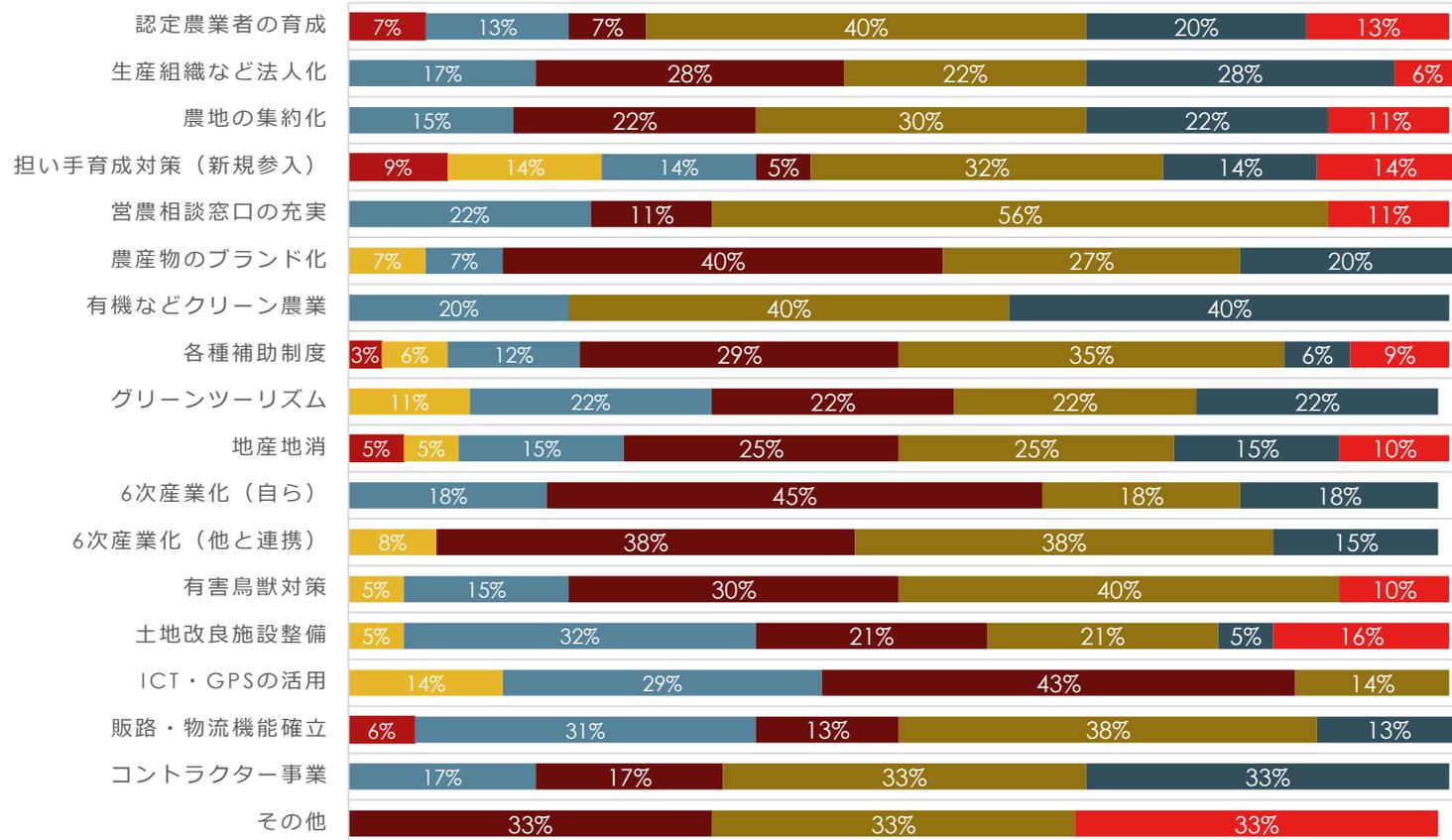
※表 61 ※その他＝産地指定を受けられるような取り組み、GPS アンテナ



※図 73

年代別

■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代以上

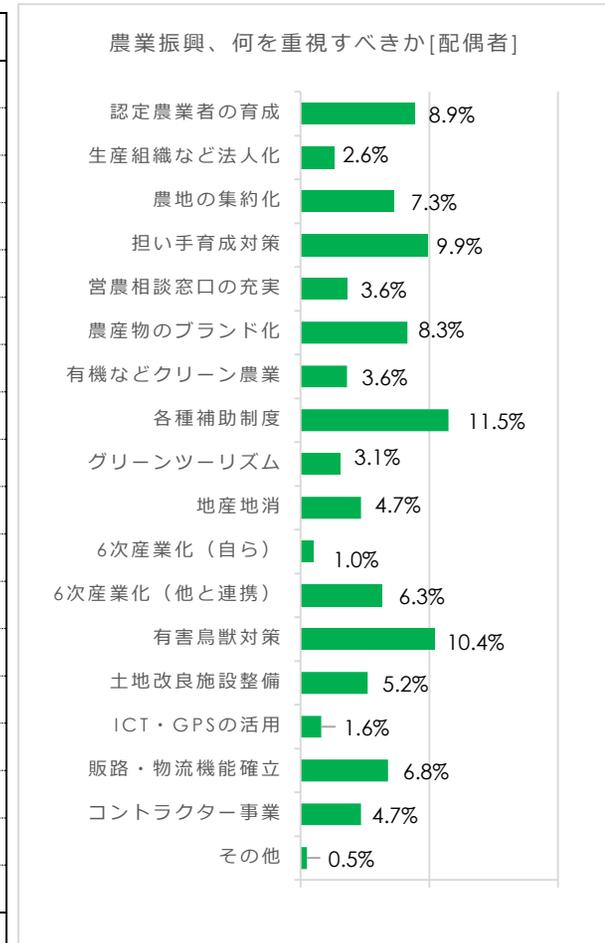


※図 74

[配偶者の回答]

(配偶者)	全体		石狩		厚田		浜益	
認定農業者の育成	17	8.9%	11	10.5%	3	6.2%	3	7.7%
生産組織など法人化	5	2.6%	3	2.8%	1	2.1%	1	2.6%
農地の集約化	14	7.3%	7	6.7%	4	8.3%	3	7.7%
担い手育成対策(新規参入)	19	9.9%	11	10.5%	6	12.4%	2	5.1%
営農相談窓口の充実	7	3.6%	4	3.8%	1	2.1%	2	5.1%
農産物のブランド化	16	8.3%	9	8.6%	3	6.2%	4	10.3%
有機などグリーン農業	7	3.6%	5	4.8%	1	2.1%	1	2.6%
各種補助制度	22	11.5%	10	9.5%	7	14.6%	5	12.8%
グリーンツーリズム	6	3.1%	3	2.8%	1	2.1%	2	5.1%
地産地消	9	4.7%	5	4.8%	2	4.2%	2	5.1%
6次産業化(自ら)	2	1.0%	2	1.9%				
6次産業化(他と連携)	12	6.3%	7	6.7%	2	4.2%	3	7.7%
有害鳥獣対策	20	10.4%	7	6.7%	8	16.7%	5	12.8%
土地改良施設整備	10	5.2%	5	4.8%	2	4.2%	3	7.7%
ICT・GPSの活用	3	1.6%	1	0.9%	2	4.2%		
販路・物流機能確立	13	6.8%	8	7.6%	2	4.2%	3	7.7%
コントラクター事業	9	4.7%	6	5.7%	3	6.2%		
その他	1	0.5%	1	0.9%				
計	192	100%	105	100%	48	100%	39	100%

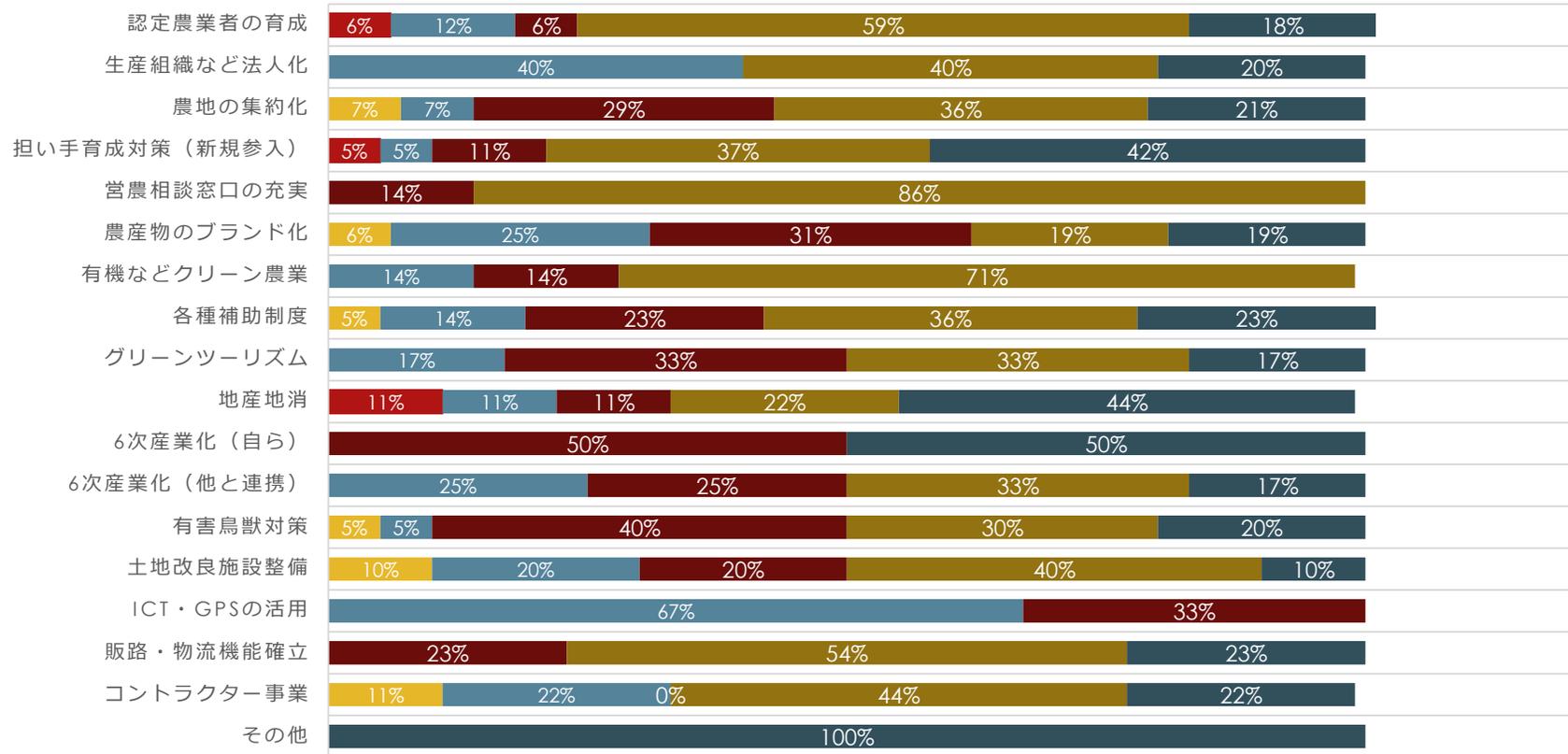
※表 62 ※その他＝海外への輸出



※図 75

年代別

■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代

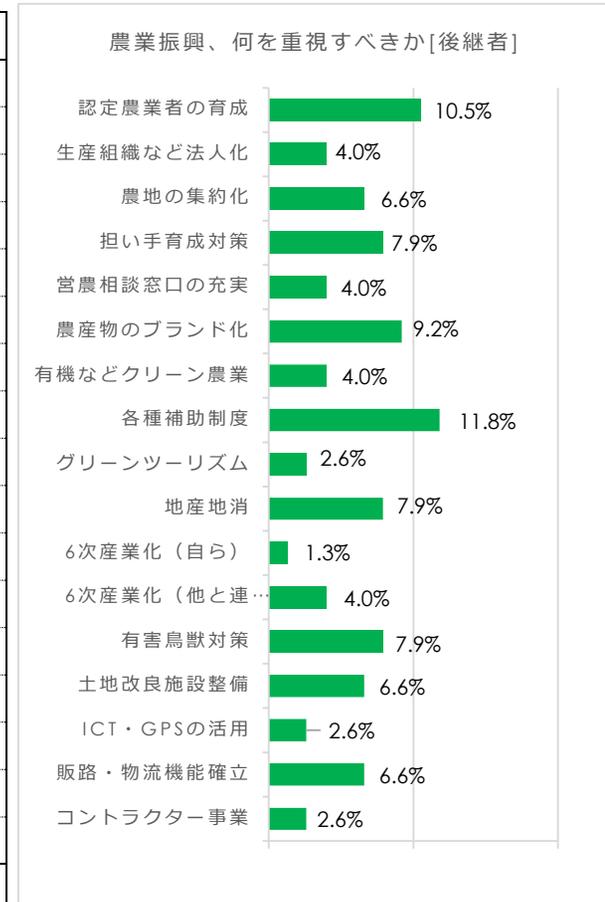


※図 76

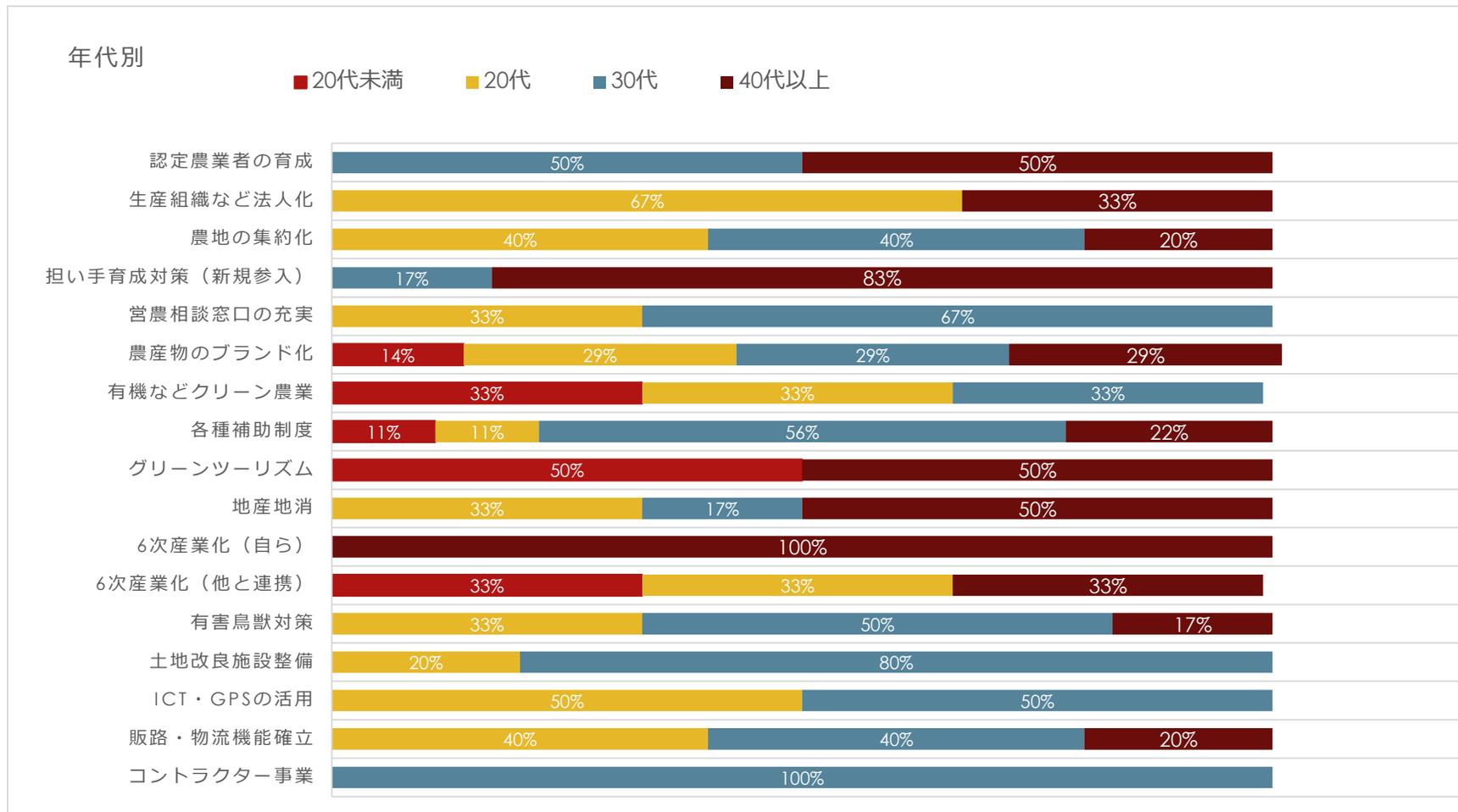
[後継者の回答]

(後継者)	全体		石狩		厚田		浜益	
認定農業者の育成	8	10.5%	5	11.6%	3	11.6%		
生産組織など法人化	3	4.0%			2	7.7%	1	14.3%
農地の集約化	5	6.6%	2	4.7%	2	7.7%	1	14.3%
担い手育成対策(新規参入)	6	7.9%	4	9.3%	1	3.8%	1	14.3%
営農相談窓口の充実	3	4.0%	1	2.3%	1	3.8%	1	14.3%
農産物のブランド化	7	9.2%	5	11.6%	1	3.8%	1	14.3%
有機などグリーン農業	3	4.0%	2	4.7%	1	3.8%		
各種補助制度	9	11.8%	7	16.3%	2	7.7%		
グリーンツーリズム	2	2.6%	1	2.3%	1	3.8%		
地産地消	6	7.9%	5	11.6%	1	3.8%		
6次産業化(自ら)	1	1.3%	1	2.3%				
6次産業化(他と連携)	3	4.0%	1	2.3%	2	7.7%		
有害鳥獣対策	6	7.9%	3	7.0%	1	3.8%	2	28.5%
土地改良施設整備	5	6.6%	3	7.0%	2	7.7%		
ICT・GPSの活用	2	2.6%			2	7.7%		
販路・物流機能確立	5	6.6%	1	2.3%	4	15.4%		
コントラクター事業	2	2.6%	2	4.7%				
計	76	100%	43	100%	26	100%	7	100%

※表 63



※図 77



※図 78

●ご意見・ご要望（自由記載欄）

**【経営者】**

- ・野菜（人参・大根・ブロッコリー）その他が安い米、麦類も！何かしなければだめだ！
- ・土地の後継者はいるが農業のみでは生活が成り立たず、農業の後継を嫌がっている。とれのさと以外で近所に自由に自家野菜を売ってよい時代になってほしい。また肥料が 20kg だと重くて持てないから軽いのにしてほしい。
- ・生振の広大な荒地（農地）を活かす対策を考えるべき。
- ・市の予算が厚田浜益に屈している実感がありません。広く浅くではなくとんがった政策を期待したいです。
- ・このアンケート何か意味があるの？形だけやりましたでおわりじゃないの？
- ・人が集まる地域作り
- ・日頃から農業への協力ありがとうございます。農機具購入の助成があると助かります。
- ・石狩市に公営市場を設けて、都市のホテルや外食業者への販路拡大
- ・アンケートの見直しを。
- ・2020 年よりトラクターも自動操舵になるので GPS の精度で中継アンテナが必要です。中生振・8 線をモデル事業で優先してください
- ・今後 5 年もすれば農業従事者がかなり不足し個人負担が大きくなることは確実なため早急な対策を！！
- ・年金生活のため畑 3 反まで、ハウス 3 棟までの作付けでアンケートの書きようがない。野菜、出荷だけです。
- ・直売野菜の栽培技術の指導してほしい。
- ・新品種の野菜の普及等
- ・市、主導の販売戦略。アンケートが活かされていない。
- ・石狩市がもっと支援・農業に協力補助金などを予算付けするべき。他市町村と比べ色々農業に対しダメ。アンケートに答えて何か変わるのでしょうか。
- ・機械のリース
- ・機械のリースがあると助かる
- ・新港には多くの食品、流通、加工、野菜、農産物にかかわる業種・会社が多くありますのでお互いに協力して何かできればと考えますが。

**【配偶者】**

- ・石狩市は耕地面積が狭いので大規模農業をめざすのが将来にとってもよいと思います。又、生振は荒地（農地）が多く見られますが、活用する方法を考えれば将来的に希望の持てる地域になるのではないかと思います。
- ・配偶者用の意向調査なのに「将来の農業経営をどのように考えるか？」の質問は不必要。
- ・6 次産業化により、石狩の農産物をブランド化して発信して行けるように JA とタッグを組んで取り組んで頂きたい。それにはふるさと納税に期待します。
- ・小さい農家に助言してください。補助金制度ないのでしょうか。
- ・経営者配偶者共に年齢も多く地区の中には女性一人家庭も多く農業者としては農地としての継続も心配です。

**【後継者】**

- ・今ある農作物をなくさない農業を。

## 【用語解説】

### 【ア行】

#### **ICT**

情報や通信に関連する科学技術の総称。特に、電気、電子、磁気、電磁波などの物理現象や法則を応用した機械や器具を用いて情報を保存、加工、伝送する技術のこと。

#### **YES!clean**

北のクリーン農産物表示制度。農産物ごとに定められた化学肥料、化学合成農薬の使用基準や他の農産物と分別して収穫・保管・出荷するなど、一定の基準をクリアした生産集団が生産・出荷する農産物に「YES!clean マーク」を表示し、併せて、化学肥料の使用量や化学合成農薬の使用回数などの栽培情報を知らせる北海道独自の農産物表示で、「北のクリーン農産物表示要領」に基づくもの。

#### **いしかり地産地消の店認証制度**

いしかり産農水産物の消費拡大と地産地消の推進を目的に、地元農水産物を活用し積極的に地産地消の推進に取り組む、飲食店・食品加工業者・小売店等を「いしかり地産地消の店」として認証する制度。認証店は、統一したデザインの看板や幟でPRするほか、市のホームページやパンフレット等で紹介される。

#### **インバウンド**

海外からの旅行者の流れのこと。日本から見ると訪日外国人旅行を意味する。

#### **エコファーマー**

「持続性の高い農業生産方式の導入に関する法律」に基づき、堆肥などによる土づくりと化学肥料や化学合成農薬の使用の低減を一体的に行う、環境保全に配慮した農業生産方式を導入する計画を作成し、都道府県知事から認定を受けた農業者のこと。

### 【カ行】

#### **家族経営協定**

各世帯員が、意欲とやり甲斐を持って参画できる魅力的な農業経営をめざし、経営の方針や家族一人ひとりの役割、就業条件・就業環境について、家族間の十分な話し合いにより結んだ取り決め。

#### **環境保全型農業**

農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくりなどを通じて化学肥料、農薬に使用などによる環境負荷の軽減に配慮した持続的農業のこと。

## グリーンサポーター

J A いしかりで行っている、登録制農作業パート。

## グリーンツーリズム

緑豊かな農村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しみながら、ゆとりある休暇を過ごす滞在型の余暇活動のことで、農業生産活動や農畜産物をなかだちとした人的な交流を主体としたものを指す。具体的な取り組みとしては、農家民宿、農家レストラン、農産加工・直売所、観光農園、市民農園などの取り組みがあげられる。

## クリーニングクローブ

連作障害の主要因は、同一作物の作付けによる病害虫の被害拡大とされており、特に、土壌伝染性病害ならびに線虫害が問題となる。また、同じ養分吸収特性を持った作物を連作することにより、土壌中の養分バランスが崩れることによる生理障害も連作障害の要因とされている。病害虫密度を低減する対抗植物としての機能を持ったものも、クリーニングクローブと呼ばれている。

## グリーン農業

堆肥等の有機物の施用などによる土づくりに努め、化学肥料や化学合成農薬の使用を必要最小限にとどめるなど、農業の自然循環機能を維持増進させ、環境との調和に配慮した、安全・安心、品質の高い農産物の生産を進める農業。

## 耕畜連携

畜産農家から、米や野菜等を生産している耕種農家へ堆肥を供給したり、逆に耕種農家が転作田等で生産した飼料作物を家畜の飼料として供給するなど、耕種サイドと畜産サイドの連携を図ること。

## コンシェルジュ機能

フランス語で、本来「集合住宅（アパルトマン）の管理人」という程度の意しか持たない単語である。そこから解釈を広げ、ホテルの宿泊客のあらゆる要望、案内に対応する「総合世話係」というような職務を担う人の職名として使われている。宿泊客のあらゆる要望に応えることをそのモットーとしていることもあり、「（宿泊客の要望に対して）決して NO とは言わない」と言われている。

## コントラクター

農作業機械と労働力を有して、農家から農作業を請け負う組織。農業者による営農集団や農業協同組合のほか、民間企業によるものがある。

## 【サ行】

### 指導農業士・農業士

就農希望者に対して、農業経営や農家生活についての知識や技術の習得に向けて研修を行い、新たな農業者の育成に尽力されている方々を「北海道指導農業士」として認定している。農業の担い手になろうとする者の研修受入、指導、助言を行なうとともに、道、市町村、農協等が行う、新規就農希望者の研修受入及び新規就農者の定着の促進、女性農業者や青年農業者等への活動支援及び資質向上、地域農業の振興及び農村生活の向上について協力を行うこととする。

また、地域農業の担い手として経営改善や地域農業の振興などに積極的・意欲的に活躍される農業者の方々を「北海道農業士」として認定しており、新規就農者に対する助言、経営改善や地域農業の振興に関する協力、地域リーダーをした資質の向上や地域活動への意欲的な取組についての役割を求められている。

### ジビエ

狩猟で得た天然の野性鳥獣の食肉を意味する言葉。

### スマート農業

ロボット技術やICTを活用した超省力・高品質生産を実現する新たな農業。農林水産省では、スマート農業の姿を以下の5つの方向性に整理している。

#### ① 超省力・大規模生産を実現

トラクター等の農業機械の自動走行の実現により、規模限界を打破

#### ② 作物の能力を最大限に発揮

センシング技術や過去のデータを活用したきめ細やかな栽培（精密農業）により、従来にない多収・高品質生産を実現

#### ③ きつい作業、危険な作業から解放

収穫物の積み下ろし等重労働をアシストスーツにより軽労化、負担の大きな畦畔等の除草作業を自動化

#### ④ 誰もが取り組みやすい農業を実現

農機の運転アシスト装置、栽培ノウハウのデータ化等により、経験の少ない労働力でも対処可能な環境を実現

#### ⑤ 消費者・実需者に安心と信頼を提供

生産情報のクラウドシステムによる提供等により、産地と消費者・実需者を直結

## 【タ行】

### 多面的機能支払事業

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域共同で行う、多面的機能を支える活動や地域資源（水路、農道等）の質的向上を図る活動に対して支援する事業。

## 中山間地域等直接支払推進事業

平野の外縁部から山間地に至るいわゆる中山間地域は、多様な食料の供給機能を有するとともに、豊かな伝統文化や自然生態系を保全し、都市住民に対して保健休養の場を提供するなどの多面的機能を有するものの、傾斜地が多い等の生産条件の不利性と生活環境等の定住条件に恵まれないことから、農業生産の維持を通じて多面的機能を確保する観点から、平地地域との生産条件の格差の8割を直接支払うものとして、平成12年度から実施されている制度。

## TPP協定（環太平洋連携協定）

オーストラリア、ブルネイ、カナダ、チリ、日本、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、米国及びベトナムの合計12か国でモノの関税だけでなく、サービス、投資の自由化を進め、さらには知的財産、電子商取引、国有企業の規律、環境など、幅広い分野で21世紀型のルールを構築する経済連携協定。

## 【ナ行】

### 認定農業者

農業経営基盤強化促進法に基づく制度。経営改善を図ろうとする農業者が自ら農業経営改善計画を作成・申請し、①市町村の基本構想に照らして適切であり、②その計画の達成される見込みが確実で、③農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために適切である、との基準に適合する農業者として、市町村から認定を受けた者。

### 農商工連携

農村が有する地域の特色ある農産物、美しい景観など、長い歴史の中で培ってきた貴重な資源を有効に活用するため、農業者と商工業者がお互いの技術やノウハウを持ち寄って、新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大などに取り組むこと。

### 農地中間管理事業

農地中間管理機構が農地の出し手から農地を借受け、必要に応じて基盤整備などの条件整備を行い、担い手がまとまりのある形で利用できるよう配慮して貸し付ける制度。

### 農林業センサス

農林業センサスは、我が国の農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業施策の企画・立案・推進のための基礎資料となる統計を作成し、提供することを目的に、5年ごとに行う調査。

## 【ハ行】

### バイオマス

生物資源（量）を表す概念で、「再生可能な生物由来の有機性資源で、石油や石炭などの化石資源を除いたもの」を指し、具体的には、稲わらやもみ殻、食品廃棄物、家畜排せつ物、木くずなどで、エネルギーや新素材などとして利用可

能なもの。バイオマスエネルギーや製品として利用することは、地球温暖化防止や循環型社会の形成、農林漁業の活性化など早急に取り組むべき課題解決に貢献できるものとされている。

### 畑地かんがい

貯水池に貯えた農業用水を農作物が水を必要としているときに必要な分だけ、農地に散水するシステム。

### 繁殖経営

肉用牛経営は、一般に子牛を生産・販売する繁殖経営と、子牛を肥育して販売する肥育経営に分かれている。繁殖経営は、繁殖雌牛を飼い、1年に1回程度子牛を産ませて、8～9か月齢(250～300kg)で家畜市場に出荷する経営。なお肥育経営は、家畜市場から子牛を買い入れて肥育し、28～30か月齢(750kg前後)に育てて食肉センター等へ出荷する経営。

### フードマイレージ

食料の生産地から食卓までの距離に着目し、なるべく近くでとれた食料を食べた方が、輸送に伴う環境への負荷が少なくなるという考え方。

### 茯苓(ブクリョウ)

漢方生薬で効能は利尿作用、滋養、血糖降下などの効果があると言われている。

### ふれあいファーム

都市と農村の交流に意欲的な農業者の農場で「ふれあいファーム」として登録されたもの。市町村の推薦に基づいて北海道が登録する。農作業体験や農業者との語りを通して、日頃接する機会の少ない農場の実際に触れ、農村の魅力を感じてもらうための、交流拠点としての役割を果たしている。

### 【うり】

### 連作障害

同じ場所で同じ野菜を毎年連続して栽培したときに、その野菜を冒す病原菌が多くなったり、土壌の中の特定の養分が不足したりして、生育が極端に悪くなったり、枯れたりする生育障害のこと。

### 6次産業化

生食用や加工品などの原料を単に供給するという農業から、積極的に食品工業(第2次産業)や流通・外食産業・飲食サービス業(第3次産業)などを取り込み、総合産業化(第6次産業)を実現しようとするもの。

# 第4期石狩市農業振興計画（H29～H33）

## いしかり農業未来づくりプラン

発行／北海道石狩市 平成29年4月

編集／北海道石狩市 企画経済部農政課

〒061-3292 北海道石狩市花川北6条1丁目30番地2

TEL (0133) 72-3164 FAX (0133) 72-3540

URL : <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp>

E-mail : [nosei@city.ishikari.hokkaido.jp](mailto:nosei@city.ishikari.hokkaido.jp)